

令和5年度

社会福祉法人むつみ会

事業報告書

事業期間

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

目次

令和5年度 社会福祉法人むつみ会事業報告	3
1. 社会福祉法人むつみ会 法人本部事業 令和5年度 事業報告	4
1. 役員会等審議事項について.....	4
2. 職員功労者の表彰について	5
3. 事業活動に係る決算概要	7
第一種社会福祉事業 母子生活支援施設 むつみ荘 令和5年度 事業報告	10
1. 利用者支援:母親.....	11
2. 利用者支援:小学生以上の児童	12
3. 利用者支援:幼児	14
4. 利用者支援:心理	16
5. 利用者支援:分園(サテライト)型母子生活支援施設.....	17
6. 利用者支援:アフターケア	18
7. 利用者状況.....	19
8. 施設行事.....	22
9. 職員研修・各種委員会	26
10. 視察関係.....	28
11. 外部への講師派遣	28
12. 防災訓練.....	29
13. 保健衛生環境整備.....	30
14. 寄附及び招待事業受入	31
15. 母親懇談会.....	36
16. 実習受入状況	37
17. 利用問合せ状況	39
18. 地域交流及び協力実績報告.....	40
19. 事故報告・苦情解決	41
3. 第二種社会福祉事業 むつみ荘児童一時預かり事業（一時預かり保育室たんぼぼルーム）令和5年度 事業報告	42
4. 第二種社会福祉事業 子育て短期支援事業 令和5年度 事業報告	43
1. トワイライトステイ事業	43
2. ショートステイ事業.....	44
5. 第二種社会福祉事業 よつば保育園 令和5年度 事業報告	45
1. 総括.....	45
2. 振り返り.....	46
3. 年間利用児数(各月1日現在在籍数)	48
4. 職種別職員数(年度末日現在).....	48
5. 組織体制等.....	48
6. 勤務体制、時間等	48

7. 職員研修実施内容.....	48
8. 年間行事実施内容.....	48
9. 実習生受け入れ状況.....	48
10. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容.....	49
11. 設備、備品、遊具等の充実内容.....	49
12. 建物等修理・修繕実施内容.....	49
13. その他.....	49
6. 第二種社会福祉事業 病児保育室きらら 令和5年度 事業報告.....	51
1. 総括.....	51
7. 第二種社会福祉事業 むつみ保育園 令和5年度 事業報告.....	52
1. 総括.....	52
2. 年間利用児数(各月1日現在在籍数).....	53
3. 職種別職員数(各月1日現在在籍数).....	53
4. 組織体制等(年度末日現在).....	53
5. 勤務体制、時間等.....	53
6. 職員研修実施内容.....	53
7. 年間行事実施内容.....	53
8. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容.....	53
9. 実習生受け入れ状況.....	54
10. 設備、備品、遊具等の充実内容.....	54
11. 建物等修理・修繕実施内容.....	54
12. 苦情・要望等報告.....	54
8. 第二種社会福祉事業 むつみ保育園一時保育事業 令和5年度 事業報告.....	56
1. 総括.....	56
2. 利用児数実績.....	57
3. 利用事由及び時間数.....	57
9. 第二種社会福祉事業 むつみ学童クラブ第一・第二 令和5年度 事業報告.....	58
1. 運営目標と結果.....	59
2. 利用実績.....	60
10. 公益事業 むつみ学習支援センター 令和5年度 事業報告.....	65
1. 運営目標と結果.....	66
2. 利用実績.....	67
11. 公益事業 生計困難者に対する相談支援事業（彩の国あんしんセーフティネット事業） 令和5年度 事業報告.....	69
12. 公益事業 食事補助クーポン券配布事業 令和5年度 事業報告.....	70

令和5年度 社会福祉法人むつみ会事業報告

新型コロナ感染症も2類から5類となり、感染対策をとりながらも通常に支援サービスを法人として提供できるよう、事業所ごと職員連携のもと業務にあたった1年となりました。

また、少子高齢化が急速に進む中、法人を取り巻く社会環境や福祉情勢も大きく変化をし、また、社会経済も物価の高騰で、経済格差が拡大を続けてしまうのではと心配している。

これらの社会構造の変化が進むにつれて、家庭や地域との関係の希薄化したことによる社会的孤立や生活困窮への対応、虐待・DVの防止や権利擁護などが重要な課題となっている。

法人の目標である「子育て支援・家族支援」を念頭に置きながら、上記の事業の他にも彩の国あんしんセーフティーネット事業・埼玉県災害派遣チームへの参画をとおり、地域に開かれ、また貢献できる施設づくりを目指しつつ、関係機関とのネットワークの強化さらなる向上に努めてまいりました。

しかしまだ弱い立場にあるひとり親家庭や経済的困窮世帯および若年子育て家庭には厳しい状況にあることに変わりがない中、県・市及び関係機関のご協力を賜りながら、今年度についても職員一体となり鋭意努力を重ねてまいりました。今後も現状に甘えることなく、効率的・効果的な経営を実践して更なる発展を目指し努力を積み重ねてまいります。

尚、令和5年度の事業につきましては、別紙のとおりでございます。

令和6年4月

社会福祉法人むつみ会

理事長 永塚博之

1. 社会福祉法人むつみ会 法人本部事業

令和5年度 事業報告

1. 役員会等審議事項について

開催年月日	審議事項等	出席者数
R5 5 23	令和5年度 内部監査 監査事項 むつみ会各会計について	監事(2)
6 1	令和5年度 第1回理事会 認定事項 1. 令和4年度各事業所の事業報告について 2. 令和4年度各事業所収支決算書について 議案事項 1. むつみ会任期満了に伴う理事・監事の推薦について 2. 令和5年度むつみ会評議員会の議案について	理事(6) 幹事(2)
6 16	令和5年度 第1回 評議員委員会 認定事項 1. 令和4年度各事業所の事業報告について 2. 令和4年度各事業所収支決算書について 議案事項 1. むつみ会任期満了に伴う理事・監事の選任について(案)	委員(7)
6 16	令和5年度 第2回 理事会 議案事項 1. むつみ会理事長の選出について(案)	理事(6) 幹事(2)
9 11	令和5年度 第3回 理事会 議案事項 1. むつみ会複合施設ビジネスフォン機器交換工事に伴う入札について	理事(5) 幹事(2)
10 15	令和5年度 第4回 理事会 議案事項 1. 保育園調理業務に係る委託業者との契約内容変更について 2. 給食費の値上げに係る保育園運営規程の改定について	書面
R6 1 24	令和5年度 第5回 理事会 議案事項 1. むつみ会個人情報保護規程の一部改定について 2. むつみ会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改定について 3. むつみ会職員の再雇用に関する要綱の一部改定について 4. 令和7年度よつば保育園園長人事について 5. むつみ会職員給与規程の一部改正について 6. むつみ会職員給与規程の施行に関する事項の一部改定について	理事(5) 監事(1)
3 11	令和5年度 第2回 評議員委員会 議案事項 1. 令和5年度むつみ会各補正予算書(案)について. 2. 令和6年度むつみ会各収支予算書(案)について 3. 令和6年度むつみ会各事業計画書(案)について 4. むつみ会職員給与規程の施行に関する事項の一部改訂について(案) 報告事項 1. 令和7年度園長候補者経歴表	委員(6)
3 11	令和5年度 第6回 理事会 議案事項 1. 令和5年度むつみ会各補正予算書(案)について. 2. 令和6年度むつみ会各収支予算書(案)について 3. 令和6年度むつみ会各事業計画書(案)について 4. むつみ会職員給与規程の施行に関する事項の一部改訂について(案) 報告事項 1. 令和7年度園長候補者経歴表	理事(5) 監事(2)

2. 職員功労者の表彰について

就業規則に基づき、職員の表彰を行い、功労品を贈呈している。永年勤続者及び、アイデアを広く求め、業務等の改善を行った者がその該当者である。なお、アイデアは、正職員のみならず、派遣職員、パート職員、アルバイト職員からも広く募集しており、実効性の高かったものを評価している。

当年度の表彰者は、以下の通り、15件だった。

【園長賞】

<令和5年6月>

市川佳代子 むつみ荘 施設保育士

「保育室内の棚の増設による収納場所の拡張及び保育動線の改善」(環境改善)

→ 児童の手の届かない高さの収納スペースが増え、安全面・衛生面・美化面で改善できた。

田中朝子／花輪早紀・金子哲也 むつみ荘 母子支援員／少年指導員

「研修報告におけるパワーポイント資料制作とオンライン画面共有を用いた報告」(業務改善)

→ 研修を要約するパワーポイントで発表し、参加者、非参加者の知識共有に大いに貢献した。

奥谷恵子 むつみ学童クラブ 学童支援員

「人生ゲーム用のマネー・カード片付け袋の制作」(業務改善)

→ 職員の声掛けや確認に頼らず、児童が自主的に片づけるような工夫となり、業務が改善した。

奥谷恵子 むつみ学童クラブ 学童支援員

「外階段への滑り止めシールの設置」(環境改善)

→ 雨天時の階段が滑りやすかったが、ざらつきのある滑り止めシールにより、安全が向上した。

今井聡子 むつみ荘 少年指導員

「立正大学社会福祉部大会実践報告会における母子生活支援施設の紹介」(その他:施設周知)

→ 施設職員の意義ややりがいを後進に説明することで、施設周知と人財確保促進に貢献した。

<令和5年8月>

濱萌夏 むつみ学童クラブ 学童補助員

「学童アルバイト職員の紹介および採用」(その他:人財紹介)

→ 信頼できる職員からの紹介であるため安心感があり、よい職場づくりに寄与すると思われる。

<令和5年9月>

中村展子・山下捺津子 むつみ保育園 保育士

「幼児向けの栄養成分バランス表制作による『食の多様性』の教育」(業務改善)

→ 児童が食材や栄養素に関心を持つだけでなく健康増進や親子コミュニケーションに寄与した。

<令和5年10月>

松岡彩夏 よつば保育園 主任保育士

「共有サーバのフォルダ整理による利便性の向上及び事務作業の効率化」(業務改善)

→ 個人フォルダに保存していたデータを共有化したことで、ナレッジマネジメントが向上した。

<令和5年11月>

内田史子 むつみ学童クラブ 学童支援員

「飲料メーカー『ダイドードリンコ』自動販売機ペーパークラフト制作キットの取得」(その他:応募)

→ 夏休み制作に寄与したこと以上に、企業イベントに気づき申込み感度に見習うべき点がある。

奥谷恵子 むつみ学童クラブ 学童支援員

「ペットボトルけん玉の制作と目と手の協応動作の育成」(環境改善、その他:感覚統合訓練)

→ けん玉をヒントに制作した遊び道具だが、複数の児童が関心を持ち、よく取り組んでいた。

小島桃花・濱萌夏 むつみ学童クラブ 学童補助員

「学童夏祭りの企画及び屋台ゲーム(輪投げ、ボーリング、的あて)の制作」(その他:企画制作)

→ 短い勤務時間内に工夫し、季節感を味わい、全員が楽しみ応援できる行事を企画実施した。

<令和5年12月>

菅野恵以子 むつみ荘 施設保育士

「施設内保育室に至る玄関口(非常口)の段差におけるけが防止のための注意喚起」(環境改善)

→ 段差に気づかない児童に平易に伝えるのみならず、子を看護する保護者への配慮もできた。

<令和6年1月>

加賀香澄 むつみ荘 少年指導員

「ベビーフードインストラクター及び幼児職マイスター試験合格に伴う資格取得」(資格取得)

→ 産後・育児の傍ら、自らの時間を使い、専門性を高めるために努力したことは評価に値する。

<令和6年2月>

根岸則蔵 むつみ学童クラブ 学童補助員

「保育士試験合格に伴う国家資格取得」(資格取得)

→ 多忙な業務の中、プライベートな時間を使い、自己啓発に努めたことは大いに評価に値する。

渡部のり子 むつみ保育園 保育士

「戸田市広報誌『TODAYS保育日和』へのインタビュー記事掲載」(その他:広報活動)

→ 戸田市の保育士募集に協力するとともに、むつみ保育園の魅力発信に貢献した。

【その他の表彰】

- ・ 理事長賞、法人局長賞、表彰なしの努力賞については推薦がなかったため「該当なし」とする。

3. 事業活動に係る決算概要

本年度の事業活動については以下の通りである。計算書類、定款、役員等は、弊会ホームページにて更新される。

法人全体

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	343,374	358,597	95.75%	
人件費	226,690	216,044	104.93%	
事業費	23,196	23,541	98.53%	
事務費ほか	77,393	73,311	105.57%	
事業活動費用	327,280	312,896	104.60%	
事業増減差額	16,094	45,702	35.22%	
事業活動外収入	5,445	4,711	115.58%	
事業活動外費用	1,935	1,386	139.61%	
経常増減差額	19,604	49,027	39.99%	

社会福祉事業

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	335,852	350,225	95.90%	
人件費	223,454	212,795	105.01%	
事業費	21,494	22,763	94.43%	
事務費ほか	73,686	68,414	107.71%	
事業活動費用	318,634	303,971	104.82%	
事業増減差額	17,218	46,253	37.23%	
事業活動外収入	5,445	4,704	115.75%	
事業活動外費用	1,936	1,382	140.09%	
経常増減差額	20,727	49,575	41.81%	

本部

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	786	396	198.48%	
人件費	320	3,308	9.67%	役員報酬減少
事業費	269	119	226.05%	
事務費ほか	2,445	2,563	95.40%	
事業活動費用	3,034	5,990	50.65%	
事業増減差額	-2,248	-5,595	40.18%	
事業活動外収入	176	106	166.04%	
事業活動外費用	0	131	0.00%	
経常増減差額	-2,071	-5,620	36.85%	

むつみ荘

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	128,404	137,654	93.28%	事務費収入減少、補助金収入増加
人件費	79,092	70,559	112.09%	職員給料増加
事業費	6,648	6,624	100.36%	
事務費ほか	21,959	21,390	102.66%	
事業活動費用	107,699	98,573	109.26%	
事業増減差額	20,705	39,081	52.98%	
事業活動外収入	3,447	3,037	113.50%	
事業活動外費用	118	1,153	10.23%	む保返済利息を振替
經常増減差額	24,033	40,962	58.67%	

よつば保育園

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	114,396	124,568	91.83%	補助金収入減少
人件費	74,077	77,719	95.31%	職員給料減少
事業費	6,850	7,718	88.75%	
事務費ほか	21,592	21,938	98.42%	
事業活動費用	102,520	107,375	95.48%	
事業増減差額	11,876	17,193	69.07%	
事業活動外収入	1,154	1,075	107.35%	
事業活動外費用	19	95	20.00%	
經常増減差額	13,011	18,173	71.60%	

むつみ保育園

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	73,605	69,766	105.50%	委託費増加
人件費	57,420	50,422	113.88%	職員給料・賞与増加
事業費	5,542	5,942	93.27%	
事務費ほか	23,888	18,680	127.88%	トイレ修繕、人材紹介等による増加
事業活動費用	86,850	75,044	115.73%	
事業増減差額	-13,244	-5,278	250.93%	
事業活動外収入	668	485	137.73%	
事業活動外費用	1,798	0	-	一時保育運営費返還及び返済利息
經常増減差額	-14,374	-4,792	299.96%	

学童クラブ

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	18,660	17,841	104.59%	
人件費	12,545	10,786	116.31%	非常勤職員給与増加
事業費	2,184	2,360	92.54%	
事務費ほか	3,802	3,843	98.93%	
事業活動費用	18,531	16,990	109.07%	
事業増減差額	129	851	15.16%	
事業活動外収入	0	0	-	
事業活動外費用	0	0	-	
経常増減差額	129	851	15.16%	

学習支援センター

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	6,601	7,392	89.30%	
人件費	3,236	3,249	99.60%	
事業費	1,702	778	218.77%	指導費を事務費計上から事業費計上へ
事務費ほか	3,708	4,696	78.96%	指導費を事務費計上から事業費計上へ
事業活動費用	8,646	8,724	99.11%	
事業増減差額	-2,045	-1,331	153.64%	
事業活動外収入	0	7	0.00%	
事業活動外費用	0	0	-	
経常増減差額	-2,045	-1,324	154.46%	

特別会計

単位（千円）

科目	令和5年度	令和4年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	922	981	93.99%	
人件費	0	0	-	
事業費	0	0	-	
事務費ほか	0	201	0.00%	
事業活動費用	0	201	0.00%	
事業増減差額	922	780	118.21%	
事業活動外収入	0	0	-	
事業活動外費用	0	4	0.00%	
経常増減差額	922	776	118.81%	

第一種社会福祉事業 母子生活支援施設 むつみ荘

令和5年度 事業報告

今年度は、理念に基づき 職員一人ひとりがチーム支援を念頭に置き、多種多様な課題を抱え当施設を利用することとなった利用者に安心・安全を確保し、専門的・多機能な支援サービスを提供することができました。

新型コロナウイルス感染症も5類となったが感染対策を図りながら、会議・研修などに参加し、施設としてできる限りに職員ひとり一人にスキルアップを図った1年でもありました。

施設の持っている専門性を少しでも提供できるように工夫し、また地域社会からも必要とされる施設として、一時預かり・トワイライトステイ・ショートステイ・食育サポート・彩の国あんしんセーフティーネット事業等を十分ではありませんができる範囲で創意工夫をしながら実施し、子育て・家族支援の向上についても努力をしました。

現状に甘んじることなく、職員ひとり一人が鋭意努力を重ね、さらなる改善・努力及び工夫しながら職員が一体となり昨年度までとは違う特別な1年だったと思います。

令和 6年 4月

母子生活支援施設むつみ荘

統括施設長 永 塚 博 之

1. 利用者支援:母親

中長期計画:

「利用者の意向確認と尊重」及び「利用者の自己肯定感を高める」ことを目的に、令和5年度から3年間、以下の計画を実施する。

- 1)「アフターday」の定期開催
- 2)「ショートステイ宿泊ボランティア」の確保
- 3)「寄付品等の寄贈団体」の新規開拓・定着及びネットワーク構築
- 4)「利用者の意見表明」機会の確保
- 5)「利用者の自己肯定感」を高める機会の提供

今年度は、本体施設入所9世帯(内広域からの入所8世帯)、本体施設退所6世帯(内広域からの入所5世帯)、1人(高校卒業に伴い世帯から離れて退所)、また本体からサテライトへの移行は1世帯、サテライトからの退所は2世帯であった。入所理由は、DV被害からの避難7世帯、養育不安2世帯であるが、入所後に複雑な家族背景が分かり、母の精神疾患や子の発達障害傾向、虐待(暴言による心理的虐待)や不適切な養育(室内不衛生など不適切な環境)など多岐にわたったことは例年通りであった。

入所後は、その家庭ごとに個別のアセスメントを行い、またDVや虐待を受けてきた母子の傷つきの影響はとて大きいと考えられるため、心理職や他機関と連携しながら必要な支援を行ってきた。

DV被害からの避難では、生活準備支援や離婚調停準備のため弁護士との連携や裁判所への同行支援、氏の変更や住民票関連の諸手続き、福祉事務所・保育園・学校・警察や児童相談所・保健センター等関係機関との情報共有等の支援を行った。また精神疾患や発達障害傾向の母子が年々増えており、障害サービスや医療サービス(訪問看護・訪問リハビリテーション)の利用について、退所後の母子だけの生活を見据え、入所中に適切な社会資源と繋がるよう、母と共に考え、支援を行った。養育不安世帯には、母と相談の上、定期的に居室を訪問したり、乳児世帯は日々の体重管理など含め母子の様子を把握する等の支援をした。更に日常生活に手助けが必要な世帯には、炊事や居室内の片付け・ごみ捨て、入浴支援、買い物等、また保育園への送迎支援、子どもの生活リズム確立のため朝のモーニングコールを行った世帯もあった。一人で通院が困難な母親の通院支援を行うこともあった。

母の就労に関しては、就労相談への同行や情報提供を行った。就労は、経済的自立だけでなく社会との繋がりや自己肯定感を得られる機会とも考え、社会資源を幅広く活用できるように、との意図を持って支援してきたが、福祉的就労も含め社会との繋がりを持たない母親が増えてきている傾向がある。

また母が外国籍である方もおり、日本語理解が十分でないことや自国文化との相違などが母子の生活に不利益とならないように、母と意思疎通を取りながら支援を行ってきた。

入所者の中には、原家族や親族との関係が薄く、周囲から養育の手助けが得られず、孤独感を感じながら子育てする方も多いため、それらの解消を目的にすることも含め、上記のような様々な支援を組み合わせ、専門性を活かしながら支援を行ってきた。

また利用者支援のひとつとして、例年通りNPO法人セカンドハーベストジャパン様、(株)ニチレイ様、カ

ーブス様、明治乳業様、セブンイレブンジャパン様、地域の企業のご協力のもと、『食育』への取り組み(食育支援サービス事業)をスーパーマーケット方式で行った。更に今年度は、戸田市商工会の皆様にご協力をいただき、新しくご支援頂ける方を開拓できた。特に希望の多い野菜をご寄付下さる方2名、地域の企業団体、また地域のパン屋さんからのご支援を新たに頂くことができた。この取り組みは現在の入所者に限らず、当施設を退所した方にも連絡をして取りに来ていただいております、退所後の支援としても活かしている。またクラシカルエルフ様より多くの新品の洋服を頂き、多くの方にお渡しすることができた。更に「みんなで集う食事会(ちちんぷいぷい)」は、戸田市商工会女性部の皆様のご協力を頂き、感染症に配慮しながら皆でお喋りしながらの食事の楽しさについて利用者から声が上がリ、職員もこの会の意図である「孤食や孤立感の軽減」の重要性を再認識できた。会食が難しい世帯にはお弁当形式でお渡した。

年に二回開催の母親主体の行事である「母の会」は「自己ケア」を目的とし、一回目は資生堂の方をお招きし、「癒しのタッチケア」講座を実施。忙しい中でもセルフケアで出来るリラックス効果を教えて貰い、好評を得た。二回目は好きな香りのアロマオイルを使用したアロマストーン制作を実施した。「家に飾る！」との声があがり、楽しく実施できた。次年度も母親のニーズを考慮しながら継続していく予定である。

今年度は、上記のような支援を実施しつつ、行事は工夫しながら開催できた。次年度はさらに社会情勢にも変化が生じることが予想されるため、社会ニーズや利用者ニーズのバランスを図りながら支援の多様性を考え、また日常支援は個別化を大切にしながら、利用者にとって安心安全な支援を提供していきたい。

2. 利用者支援:小学生以上の児童

中長期計画:

「メディアリテラシー、ネットリテラシーを育てる」及び「行事を通じてセルフアドボカシー(意見表明)」を育てる」ことを目的に、令和5年度から3年間、以下の計画を実施する。

- 1)「インターネット」の安全な利用
- 2)「意見表明」機会の提供
- 3)「意見調整」力の育成

①支援概要

令和5年度 利用児童数(サテライト児童は含まない)					
利用児童総数		小学生	中学生	高校生	合計
		12	3	1	16
内 訳	新規入所児童数	1	0	0	1
	退所児童数	1		0	1
	一時保護児童数	0	0	0	0
	サテライト移行	2	0	0	2

入所に至る児童の中には、自尊心の低さや、複雑な課題が混在する様子が多数見受けられる。そのため、児童との関わりにおいては自己を肯定することを目的とし、受容を主軸とした対応を心掛けた。

児童が抱える課題は、被虐待経験、発達障害的言動、暴言・暴力、経験不足など複雑で多岐にわたる状況から派生したものである。母子関係、きょうだい関係、家族関係、友人関係といった自己以外の他者との関係性においても、仲介やサポートが必要な場合には適宜対応した。児童一人ひとりに応じた配慮

が求められ、その都度、職員間で対応を検討した。母や児童の意向も交えながら個別対応(学習、心理面談等)を実施。適宜、関係機関との連携を図った。退所を見据えた対応として、必要に応じて家族会議を行った。母子に提案し、承諾を得て、何を議題とするか打ち合わせも重ねて実施。職員がファシリテーターとなり、母子それぞれが自己の意思や考え、気持ちを共有する場として活用した。時には、各担当が母や子の代弁者となり、よりお互いが伝わりやすいような配慮をし、母子間での課題にアプローチを図った。

小学生対象の学習支援として、学習会及び定期個別学習を実施した。学習会は、対象を高学年とし、週に1度の頻度で実施。参加の有無は児童の意志を尊重しつつ母の意向にも配慮した。宿題に取り組む習慣がない児童もあり、宿題への取り組みを主軸にしつつ、習熟状況を確認しながら個々の児童のペースも加味して実施を重ねた。定期個別学習として、職員が実施することはもちろん、適宜学習ボランティアや心理学専攻の実習生の協力も得つつ、週に1度または隔週に1度で実施。主な対象を、低学年及び特別支援級在籍の児童とし、より個別性を保ち学習に臨む機会とした。なお、学習会も定期個別学習も、勉強の習慣づけ、基礎学力の定着、成功体験の積み重ね(自己肯定感を育む)を目的としている。

中高生対象の学習支援として、学習の促しをするために学習支援センター(Lcafe)や場所の提供を必要に応じて職員が学習を直接的に支援した。テスト期間や高校受験といった時期には、回数を増やしたいという要望に応えられるよう体制を整えた。特に、高校受験を控える児童に対しては、受験への意識付けを丁寧にサポートし、母からの理解と協力も得ながら、個別学習だけではなく学習支援センターも資源として活用してもらえよう参加の声かけを重ね、定期的な参加ができ、無事希望校に合格できた。

行事では、季節を感じ楽しむものや伝統・由来を学ぶ内容に配慮した。また、安心・安全のため、事前に母親へ説明し、許可・協力を得るよう心掛けた。体験を通して得た、個々の児童が何を感じ思ったかの自己表現を大事にするため、気付きを言葉にできるよう、感想や意見を伝え合う場を設けた。その際には、表現に正解も不正解もなく、他者の価値観によって否定されることのないよう、留意した。

担当職員との個別の学習、あそびを通しての関わりも行なった。男児を育てる母の悩みとして、公衆浴場の使い方を教えにくいというニーズがあり、修学旅行や林間学校などの学校行事への準備もかねて、男性職員が公衆浴場での外出体験を通してマナーを伝えた。

② 荘内における学習支援実施状況

【学習会実施状況】

小学生を対象とし、週に1度水曜日に実施。学習会は高学年が対象、定期個別学習は低学年及び特別支援学級在籍の児童を対象とし、大枠で二つに分けた。前者の利用児は3名、後者の利用児は2名で、少年指導員と母子支援員と基幹的職員、心理学専攻の実習生等で適宜支援した。支援した職員各々の視点を活かし、児童の特徴や習熟度を理解・共有し、児童に適した対応を模索・実施できた。学童に通う児童で母親が就労や傷病等のため学童迎えできない場合は、職員が迎え、参加できるよう配慮した。なお参加は、母子の意向を尊重し、事前に実施予定日を伝え、その都度参加者を募るようにした。

【小学生の学習会実施時間】

17:50 入室、勉強準備
 18:00 開始、挨拶をする
 19:00 終了、挨拶をする
 19:05 ☆閉室
 ☆学童迎え依頼があった児童は
 母の迎えまで待つ(～19:05 まで保育)

学習会の主な目的は

- 「宿題」や「勉強」に取り組む習慣づける事
 - 「分からない・教えて」といえる事
 - 「できること」を増やし、勉強への意欲を高める事
- の三点である。なお、学習会後には保護者児童の様子を伝え、保護者との連携に努めた。

【令和5年度 実施状況】

※人数は延べ参加人数。長期休暇期間は実施していない

【個別学習】

小中高生を対象に少年指導員・母子支援員で支援した。基本的には利用児や保護者からの希望を受け付けつつ、職員からも促しの声かけを行ない、復習や補完の時間にあてた。今年度は、主に受験生が活用したが、不登校の児童と学習ボランティアとのマッチングを行い、数回実施に至ったケースもあった。

月	学習会	定期 個別学習	個別学習	自主学習
4	4			
5	2			
6	7			
7	3			
8	2			
9	4	6		
10	8	6		
11	8	6	1	
12	4	2	5	
1	6	1	5	
2	6		3	
3			5	
合計	54	21	19	0

【自主学習】

自主学習として、学習室の個人利用を許可した。基本的には平日の19～20:45の利用(中高生限定)が主だが、希望があれば休日利用も可能とし対象に小学生も可とした。幼いきょうだいがいる世帯の場合、居室で勉強をすることの困難さもあるため、利用児それぞれの利用理由を尊重して受け入れることとした。利用時間が被る場合は相談室も学習場所として利用可とした。

3. 利用者支援: 幼児

施設内保育室: たんぽぽルーム

中長期計画:

「年齢に応じた自己肯定感や生活習慣の獲得」及び「保護者からの育児相談の向上」を目的に、令和5年度から3年間、以下の計画を実施する。

- 1)「発達段階」の共有
- 2)「季節感を伴う保育環境」の整備
- 3)「定型発達及び発達障害」の理解

支援概要:

①利用事由

母親の就労・求職活動・通院・離婚調停・市役所の手続き・面談・入園前や多子世帯の育児負担軽減、特例として登園出来ない子どもの預かり等、様々な理由で施設内保育を実施した。

②利用初回面談

施設内保育を実施するにあたって母・乳幼児の理解を深めるために面談を行い、面談時には子どもの一日の生活の流れや、食事・アレルギー(給食の献立表をもとに)、睡眠時の様子など細かく聞き取り、母子共に安心して利用出来る様にしている。

③給食提供

給食においては、色々な食材を体験すること、栄養バランスを十分に確保し、楽しい雰囲気の中で食事指導にも力を入れ、スプーン・フォークの使い方を覚えていくことや咀嚼等も考慮しながら取り組んだ。アレルギー除去食、離乳食の場合は引き続き弁当での対応を保護者に説明しお願いをした。また水分補給に関しては、子どもの健康・安全のバロメーターのため、その子の必要性に応じて摂取を心掛けた。午睡においては安全面を十分に考慮し、プレストレッチ・視診等を行った。

④補完保育

保育園が決まった家庭においては、慣らし保育の送迎と母が就労終了までの補完保育を行った。また、乳児世帯の定期的な居室訪問や母の就労時間や育児負担軽減等様々な理由により保育園の送迎が不可能な時の送迎支援、居室内のごみ回収も行なった。18:00以降は静養室にて保育を実施した。回復期にある病児の見守り保育やアフターケアとして退所児の保育も行った。

⑤施設内関係

施設内での母親懇談会・母の会では預かり保育を実施した。その中では月齢や発達に応じて、保育の場所の工夫や遊ぶ玩具にも安全性を配慮した。施設内行事においても積極的に参加をし、母子との関りを深めた。クリスマス会では担当者間で話し合っ居室内の子ども達のクリスマスプレゼントを購入した。また環境整備として季節の変化を意識してもらう為に、玄関入り口の壁面制作と草花の植え替えを実施した。保育士と母子支援員で乳幼児の保育の様子を情報共有する機会を持ち、他機関に多くの情報が伝えられるように協力をしながら支援を実施した。子供達が安心して過ごせるように温かい雰囲気と優しい言葉がけを心がけて保育に取り組んだ。

⑥次年度に向けて

来年度も多くの乳幼児の利用が想定されるので、衛生面・安全面に配慮しながら保育を行なっていきたい。

【令和5年度 施設内保育実施状況】

令和6年3月31日現在

保育理由	男女別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
仕事／通学	男						2	1	1					4
	女						2	8						10
買物	男	2			1	3							2	8
	女	1												1
通院	男	2	2	1	2		2				1	1		11
	女		1	2			1							4
市役所	男			1	3	1	1	3						9
	女		1			1		2				1	1	6
面談	男	4	2	2	3	1	4	2	1		1		1	21
	女	2	2	2			4	1			1	1	1	14
リフレッシュ	男					1			1					2
	女													0
養育支援(相談)	男													0
	女													0
養育支援(その他)	男	9	14	9	31	9	8	4	15	7	5	3	12	126
	女	6	14	7	5	3	11	2	1	4	1	1	10	65
病児預かり	男	1			1	1	1							4
	女											1		1
送迎支援	男	6	8	18	14	22	18	25	19	26	30	26	34	246
	女						1	3	1	2	6	4	2	19
小計	男	24	26	31	55	38	36	35	37	33	37	30	49	431
	女	9	18	11	5	4	19	16	2	6	8	8	14	120
合計		33	44	42	60	42	55	51	39	39	45	38	63	551

総合 551人

実人数 80人

4. 利用者支援:心理

新しく入所された世帯に対し、生活に落ち着きが見られる1～2か月をめぐり、初回心理面談を実施している。初回の面談では、相談室の紹介、守秘、心理士相談の利用の仕方等を説明した上で、入所に至る経緯を振り返り、新しく始まった施設生活についての不安や困りごとを尋ねている。利用児者が希望すれば、そのまま定期的な継続面接の約束をし、相談支援にあたることとなる。

当年度の相談内容は、職業選択、対人関係や養育における悩み、生い立ちやトラウマ、精神症状などが見られた。支援方法は、カウンセリング、プレイセラピーを実施した。生活や学習上の困難を利用児者と共有できる場合には、心理検査、認知トレーニング、箱庭療法、コラージュを勧め、実施に至ることもあった。

心理職は複数人配置されているため、月に一度程度、心理士会議の時間を設け、情報共有、分担内容、事例検討を行った。

なお、現入所者だけでなく、アフターケアとして心理支援を実施している。また、法人内の別事業所での個別支援や学習支援なども行っている。

【別紙 令和5年度 心理療法等事業報告】

(1)実施母子数 18 人

(2)心理療法等の回数 281 回

内容	心理療法	心理検査	生活場面面接(延べ人数)	施設職員等への助言及び指導	処遇会議等への出席	その他	計
合計	258	4	1	18	0	0	281

(3)対象母子の年齢・主な理由別人数(実人数) (単位:人) 18 人

	身体的暴力 又は身体的虐待	経済的暴力 又は保護の 怠慢・拒否	性的暴力 又は性的虐待	心理的暴力 又は虐待	ひきこもり	その他	計
0～3歳未満							0
就学前児童						1	1
小学生	1	1			1	1	4
中学生	1	1			1		3
上記以外の児童	1						1
母親	5	4					9
計	8	6	0	0	2	2	18

5. 利用者支援:分園(サテライト)型母子生活支援施設

本年度、本体施設からサテライトへの移行は1世帯、サテライトからの退所は2世帯であった。令和6年3月末現在、1世帯がサテライトに入所している。

サテライトは、職員が建物に常駐していない環境であり、主たる目的は、退所に向けての準備である。

本体施設では、母子だけでの生活の不安を口にする利用者も多い為、サテライトは、ステップハウスとして効果的と考えている。サテライトでは、月1回の定期訪問の他、面談や電話相談、同行支援なども必要に応じて行っている。

本年度は、母の就労相談、家族関係や母子関係についての相談が多かった。学校や保育園、関係機関(福祉事務所や医療機関、障害福祉サービス提供機関など)と連携を図り、支援を行った。

サテライト入所者にも、本体施設入所者と同じように、行事提供などを行った。食育サポートは、食材等だけでなく、商工会女性部に作って頂いた食事を届けもした。寄附で頂いた洋服や、クリスマスプレゼントの寄附、無料美容室の招待など、本体施設と同様にサテライト利用者にも提供し喜んで頂いた。

全国の母子生活支援施設の中で、サテライト事業を行っている施設は多くはない。今後も引き続き、それぞれの家庭の実情に合わせた細やかな段階的な支援が提供出来るよう、支援に取り組んでいきたい。

6. 利用者支援:アフターケア

母子生活支援施設退所者に対して、アフターケアを行っている。

具体的な内容としては、「来所・電話相談」・「自宅訪問」・「同行支援」・「子どもの学習支援」・「心理支援」・「食育サポート事業(食材提供・むつみスーパー)」を中心に実施している。退所者が直面する課題や感じる不安やストレスなどを気軽に話してもらえるような仕組みを考え、むつみスーパー開催時に、飲み物や社会資源のパンフレットなども用意し、足を止めて話しやすい環境設定を工夫した。食育サポート事業においては、NPO法人セカンドハーベストジャパン様や、カーブスフードドライブ事務局様、戸田市商工会様、(株)日吉様、地域・御近隣の皆様他、多くの方々のご協力の下、沢山の食材等をご寄附いただき提供した。毎月行っている退所者向けの食育サポートでは、毎月20世帯近くの退所世帯が来荘していてニーズの高さを感じている。

また「季節のお手紙」として、全ての退所世帯を対象に、職員の写真入り年賀状の送付、子どもを対象とした暑中見舞いを送付した。

今年度も退所者への支援回数と支援内容の広がりを感じた1年であった。特に以下の表の中では「その他」に含まれる「支援機関との連携、情報共有」が増えていて、入所期間中に十分な課題解決に至らず退所せざるを得ないケースが増えている。また当荘近隣への退所のため、職員の「訪問」が可能になり増加したこと、定期的な「心理面談」を継続したため、心理支援が増えたことも支援回数の増加に繋がっている。今年も当荘から地域に自立(退所)する際に支援機関と連携し、その後も連携を続けていく事で、切れ目のない支援を実施できた。今後も、地域退所世帯がいつでも相談できる場所として、準備して待ちたい。今年度実施したアフターケアの件数等詳細については、別紙を参照のこと。

【アフターケア利用状況】

令和 6年 3月 31日 現在

利用月	電話				来所				訪問		保育		心理		食料提供 世帯	学習 支援 子	その他		総計
	相談		近況		相談		近況		母	子	母	子	母	子			母	子	
	母	子	母	子	母	子	母	子											
4月	1	0	9	3	0	0	3	2	2	1	0	0	1	3	13	0	2	0	40
5月	4	0	2	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	10	0	2	0	25
6月	5	0	3	0	2	0	10	0	1	0	0	0	0	4	11	0	3	1	40
7月	3	0	7	1	0	0	2	2	2	12	0	8	1	5	8	0	6	13	70
8月	9	0	11	1	0	0	10	0	3	0	0	0	1	5	14	0	11	0	65
9月	3	0	4	0	2	0	5	1	0	0	0	0	1	5	15	3	7	0	46
10月	9	0	7	2	2	0	5	3	0	0	0	0	3	4	11	4	9	7	66
11月	3	1	2	0	4	1	7	1	0	0	0	0	1	4	24	3	5	1	57
12月	4	2	6	2	1	0	10	1	0	0	0	1	1	5	15	4	5	3	60
1月	10	2	10	2	3	1	3	0	0	0	1	1	0	5	10	2	5	2	57
2月	4	0	14	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	1	7	1	2	3	38
3月	9	0	9	2	4	0	6	3	3	0	1	0	1	2	38	2	12	5	97
集計	64	5	84	15	19	3	67	14	11	13	2	10	10	45	176	19	69	35	661

母利用合計	500	子利用合計	161	総合計	661
-------	-----	-------	-----	-----	-----

7. 利用者状況

令和6年3月31日現在

(1) 各月利用世帯人員数

本体施設 入所世帯定員 20 世帯(現員 17 世帯) 利用率 85%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	年間利用率
世帯	17	15	16	16	18	18	18	19	19	18	19	17	210 世帯	88%
人員	47	41	43	48	47	50	50	52	52	50	52	46	578 人	

サテライト 入所世帯定員 5 世帯(現員 2 世帯) 利用率 40%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	年間利用率
世帯	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	21 世帯	35%
人員	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	2	6	44 人	

(2) 各年度別入所者数

本体施設

年度	令和29年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
世帯数	7世帯	11世帯	10世帯	9世帯	7世帯	7世帯	8 世帯

サテライト

年度	令和29年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
世帯数	4世帯	1世帯	1世帯	3世帯	1世帯	3世帯	1 世帯

(3) 各年度別退所者数

本体施設

年度	令和29年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
世帯数	7世帯	8世帯	8世帯	8世帯	7世帯	4世帯	6 世帯

サテライト

年度	令和29年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
世帯数	1世帯	2世帯	2世帯	1世帯	1世帯	2世帯	2 世帯

(4) 当該入所者に係るむつみ荘と契約した福祉事務所

福祉事務所名	令和29年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
戸田市福祉事務所	8	7	6	7	7	4	3
戸田市外	3	5	6	1	1	6	9
合計	11	12	12	8	8	10	12

(5) 主な入所理由(サテライト移行世帯も含む)

理由	令和29年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経済困窮	9	6	5	6		11	9
子の養育支援		2	4	1		1	3
精神的疾患等			1				3
D V	2	3	1	5		8	3
その他		1	1			1	1
合計	11	12	12	12	0	21	19

(6) 主な退所理由(サテライト移行世帯も含む)

理 由	令和29年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
結 婚(復縁含む)	2	1	1				
サテライト利用	2	1	1	2	1	3	1
公営住宅入居	1				1		
民営住宅入居	3	8	8	6	7	3	6
身内の介護等							
子 が 18 歳 親 と 同 居		1	1				1
子が施設等に入所の為							
仕事の都合(勤務状況等)							
その他	1	1	1	2	1	1	1
合 計	9	12	12	10	10	7	9

(7) 家族構成の状況

本体施設

家族数	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	令和5年度
世帯数	8	5	4	0	17 世帯

サテライト

家族数	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	令和5年度
世帯数	1	0	1	0	2 世帯

(8) 入所期間状況

本体施設

期間	1年未満	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年以上	合計
世帯数	6	5	3	2	0	1	17 世帯

サテライト (記載省略)

(9) 近年退所者の平均在所年数(サテライト利用者も含む)

入 所 期 間	令和29年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1 年 未 満	2	5	3	3		1	1
1～2年未満	3	3		2			4
2～3年未満	2	3	1	3		4	1
3～4年未満	1		3	2		1	
4～5年未満		1				1	1
5～6年未満							
6～7年未満							
7～8年未満							
8 年 以 上							
合 計 世 帯	8	12	7	10	0	7	7

(10) 母親の年齢別状況

本体施設

平均年齢 35 歳

年 齢	20歳未満	20～25	26～30	31～35	36～40	41歳以上	合計
人 数	0	2	4	3	4	4	17

サテライト

平均年齢 40 歳

年 齢	20歳未満	20～25	26～30	31～35	36～40	41歳以上	合計
人 数	0	0	0	0	1	0	1

(11) 学年別状況

本体施設 未就学児 13 人

種別	小学生						計	中学生			計	高校生			計	合計
学年	1	2	3	4	5	6	9	1	2	3	3	1	2	3	1	13人
人数	2	1	0	2	2	2		1	1	1		1	0	0		

サテライト 未就学児 1 人

種別	小学生						計	中学生			計	高校生			計	合計
学年	1	2	3	4	5	6	2	1	2	3	0	1	2	3	0	2人
人数	0	0	0	1	0	1		0	0	0		0	0	0		

(12) 児童男女・年齢別状況

本体施設 平均年齢 6.8 歳 未就学児 13 人

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男		1		1	1	2	3	2	1		1		1	1	1	1	1			17
女	1	2		2	1		2				1		1							10
合計	1	3	0	3	2	2	5	2	1	0	2	0	2	1	1	1	1	0	0	27

サテライト 平均年齢 9.3 歳 未就学児 1 人

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男							1													1
女											1		1							2
計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3

<参考>

【職員体制】

区 分	施設長	事務員	直接処遇職員			医師	栄養士	調理員	その他 (保育・心理)	計	
			母子支援員	看護師	少年指導員						
国基準 a		1		3		2	1		1	2	10
現員 b(c+d)		1		6		4	1		1	2	15
常勤 c		1		6		3			1	2	13
非常勤 d						1	1				2
差引過不足 b-a		0		3		2	0		0	0	5

(資格:福祉施設施設長資格1名、精神保健福祉士1名、社会福祉士3名、保育士6名、放課後児童指導員4名、臨床心理士2名、認定心理士1名)

【勤務体制】

朝 番	7:30~16:00	日 勤	9:00~17:00
早 番	9:00~17:30	中 番	10:30~19:00
遅A番	11:30~20:00	遅B番	12:30~21:00
宿 直	14:00~翌15:00(就寝 22:00~翌)6:00		

8. 施設行事

子どもの健全発達支援の目的で、グループワークやレクリエーション活動を提供した。季節に応じた催し、親子親睦旅行などを通じ、母子関係の安定や再構築もねらいである。結果的に、利用児者同士にゆるやかな交流が生じ、ピアサポート効果もあるようだった。

行事名/種類	実施日/概要
卒業進級を祝う会 集会 参加者数: 幼児 10名 小学生 7名 中学生 4名 母親 12名 職員・実習生・Vr 12名 その他() 名 費用: 76,139 円	令和 5年 4月 9日 (日) 11時 0分 ~ 13時 0分 場所: 第二複合施設3階 4年ぶりに集会室で開催した。 司会を進級児童と職員が担当し、新入学の児童には「入学して頑張りたいこと」対象児童の母親には「入学して頑張るって欲しいこと」などのインタビューをした。また、途中で参加者全員でゲームをして楽しんだ。 感染症には十分配慮し、机の感覚は広めに設けた。昼食はモスバーガーやポテトを提供し食べづらは見られたものの好評だった。
ちんぷいぷいwith商工会 配布 参加者数: 幼児 11名 小学生 10名 中学生 4名 母親 17名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名 費用: 14,382 円	令和 5年 4月 21日 (金) 17時 30分 ~ 19時 0分 場所: 事務所 戸田市商工会の女性部と事前に打ち合わせを行い実施することにした。 季節の変わり目で感染症の拡大に配慮する形で配布をした。 14時から調理を開始してメニューは炊き込みご飯、味噌汁、野菜の和え物、肉団子を渡して。母子ともに「何かいい匂いがする〜ごはん何?」と自然と笑顔になったり会話が弾んでいた。味噌汁については自宅で使用している鍋を持ってきてもらってお渡ししている。
こどもの日 配布 参加者数: 幼児 16名 小学生 7名 中学生 4名 母親 17名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名 費用: 9,586 円	令和 5年 5月 2日 (火) 17時 0分 ~ 時 分 場所: 事務所 こどもの豊かな成長と育ててくれた母への感謝の気持ちを由来をもつこの行事。市内にある和菓子店へ柏餅を発注した。また、商工会より頂いた子ども達に人気のあるうまい棒やジュースを一緒に渡した。 集会室には五月の節句の兜を飾り写真撮影を行った。 来年度はこいのぼりを母子で制作するなど新たな試みに挑戦したい。
母の日 配布 参加者数: 幼児 13名 小学生 10名 中学生 4名 母親 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名 費用: 13,989 円	令和 5年 5月 5日 () ~ 1 4日 場所: 事務所 小学生以上はマグカップに絵を描いたり、メッセージを書きオリジナルのプレゼントを渡した。また、乳幼児については写真や絵をモチーフに日常使用のできるポーチの作成を行った。 今年度は子ども達からの「世界にひとつだけの贈り物」に母親たちは歓喜の声をあげていた。
母の会① 集会 参加者数: 幼児 名 小学生 名 中学生 名 母親 10名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名 費用: 9,788 円	令和 5年 6月 2日 (金) 17時 30分 ~ 18時 30分 場所: みつばち 資生堂の方をお招きして「癒しのタッチケア」を開催した。 乳幼児の補完保育を実施し母親が安心して参加できる環境を設定した。限られた時間ではあったが、ハンドマッサージの仕方を教えて頂いたり、肩から背中にかけてマッサージの施術を実際に体験した。 当日は台風で悪天候ではあったものの希望者に参加いただくことができた。
小学生行事①/クッキング 集会 参加者数: 幼児 名 小学生 7名 中学生 名 母親 3名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名 費用: 5,039 円	令和 5年 6月 18日 (日) 11時 0分 ~ 14時 分 場所: みつばち 小学生を対象にホットプレートを使用して餃子作り、中華スープ、ポテトサラダを作って食べた。買い物から子どもと一緒にこなった。みんなで食べるものについては職員が調理をしている。自分で食べるものは自分で作り、餃子の具もひき肉をこねたり野菜を小さく切ったりした。初めて包丁を触る子どももいたので安全な使い方は事前に説明をしている。来年度は子ども達の意見を取り入れながらデザートも検討する方向。
ちんぷいぷいwith商工会 集会 参加者数: 幼児 14名 小学生 10名 中学生 4名 母親 18名 職員・実習生・Vr 6名 その他() 名 費用: 14,338 円	令和 5年 6月 22日 (日) 18時 0分 ~ 19時 30分 場所: みつばち 戸田市商工会女性部の方をお招きして具沢山ピラフ、野菜の和え物、かぼちゃのポタージュを作って頂いた。 感染症拡大に考慮して集会室でふたつのグループに時間帯で分けて行った。自宅から食事に必要なものは持って来ていただき、ビュッフェ形式で会食した。 「いつもはこんなに食べないのに…」「美味しい」「これ好き」などと嬉しい会話が聞かれた。母親が仕事で帰宅が遅くなる世帯は子どものみ参加している。

4,5,6月 誕生日会	外出	令和 5年 6月 23日 (月) 18時 0分 ~ 18時 30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 3名 小学生 5名 中学生 2名 母親 3名 職員・実習生・Vr 6名 その他() 名		今年度のはじめての誕生日会と言うこともあり母親、子どもへの周知が不十分なところもあったが対象児童の世帯は参加している。 「HappyBirthDay」の歌を皆で歌いお祝いをした。みんなで参加できる「シルエットクイズ」をして楽しい時間を過ごした。 誕生者にはプレゼントを準備し、参加者全員にジュースを渡した。
費用: 9,469円		
コラージュ・ワークショップ	集会	令和 5年 7月 4日 (金) 13時 0分 ~ 14時 30分 場所: 地域交流スペース
参加者数: 幼児 名 小学生 名 中学生 名 母親 3名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名		臨床心理司によるコラージュ・ワークショップを開催した。 事前に母親に手紙でワークショップのお知らせをしたもので参加者は多くなかったが自分の作品作りに集中しており、最後は「どういことをイメージした?」と尋ねて参加者でお互いの作品を鑑賞した。
費用: 440円		
小学生行事②/流しそうめん&かき氷	集会	令和 6年 7月 23日 (日) 11時 30分 ~ 13時 30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 名 小学生 7名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 3名 その他() 名		外気温が高く熱中症が心配されたため、室内での実施を試みた。事務所前のベランダにあるプランターで栽培した枝豆、ミニトマトもそうめんと一緒に流して食べた。箸の使い方が未習得な子どもや野菜が苦手な子どもの姿もあったが他児の姿を見て挑戦をしている様子も見られた。高学年が低学年を気遣う様子も見られ、最後はかき氷を削った体が冷えており寒さを訴える子どもも出たが楽しく過ごしている様子が見られた。
費用: 4,825円		
ちんぷいぷいwith商工会	集会	令和 6年 8月 24日 (木) 17時 30分 ~ 19時 30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 17名 小学生 8名 中学生 4名 母親 19名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名		戸田市商工会女性部の方をお招きして14時からカレーピラフ、中華サラダ、中華スープ、冷凍ハンバーグ、チーズの提供を行った。今回も前回同様、事前に打ち合わせをし、14時から5名の方に来ていただき作って頂いた。19世帯の入所がある中で15世帯に参加いただき好評を頂いた。 前日から、「明日はちんぷいだ、ごはん何かな～」と楽しみにしている母子や食事の大変な様子を見て「うただけが大変ではないんだ」と感じる母親のことも聞かれた。
費用: 13,809円		
中学生行事①/農業体験	外出	令和 5年 9月 10日 (日) 12時 0分 ~ 16時 40分 場所: 狭山市
参加者数: 幼児 名 小学生 名 中学生 4名 母親 名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名		中学生を対象に農業体験行事を実施した。季節の果物を実際に収穫する体験を通して季節を感じたり非日常的な体験をすることを目的とした。家族へのお土産を購入し、ひとり二房くらい食べていた。また、基本的な生活習慣の入浴するということが未習得な子どももおり入浴することで清潔感を保つ大切さを感じるきっかけになるよう帰荘時に銭湯に寄った。出発する前に入浴のマナーを子どもにも伝え出発した。洗い方についても声をかけながら入浴を楽しんだ。
費用: 14,678円		
親子ふれあい泊旅行	外出	令和 5年 9月 23日 ~ 日 ~ 17時 場所: 栃木県/茨城県
参加者数: 幼児 10名 小学生 8名 中学生 4名 母親 12名 職員・実習生・Vr 8名 その他() 名		大型のバス1台で茨城県にある宇宙エキスポセンターへ行き栃木県にある益子温泉ホテルで宿泊。会食時は母子ともにカラオケをして楽しんだり、花火をして日頃できない経験をした。また、翌日には大洗アクアワールドに行きイルカのショーを見たり親子で楽しく過ごす時間とした。 長時間のバスの移動だったが、車中は少しゲームをしたり、DVD鑑賞をして過ごした。一世帯、子どもの発熱で二日目の朝に離団して電車で職員と帰荘した。
費用: 1,046,090円		
7,8,9月 誕生日会	集会	令和 5年 9月 29日 (金) 18時 0分 ~ 18時 30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 13名 小学生 2名 中学生 2名 母親 9名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名		事前にお知らせをしており、帰荘時に誕生会に参加するように声をかけた。誕生日会の対象の子どもも多かったこともあり多くの参加があった。 誕生者の紹介と歌のプレゼント、そしてクイズ大会を行い盛り上がった。 中学生の参加もあり、9世帯が参加している。誕生者にはプレゼントを参加者にはジュースをお渡ししている。
費用: 17,341円		
ハロウィン	集会	令和 5年 10月 25日 ~ 1日 場所: みつばち
参加者数: 幼児 6名 小学生 1名 中学生 名 母親 5名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		10/25~31までを仮装できるように準備し、27~31までは「おやつじゃんけん」と称して帰荘時に「トリックオアトリート」と言って職員とじゃんけんをしておやつをもらうというイベントを開催した。また、開催期間中はハロウィンの塗り絵を準備し幼児から小学生の子ども達は自宅で塗ったものを集会室みつばちに飾った。 自宅にある衣装で仮装する子どももおり母親同士の声をかけながら他世帯交流も行われた。
費用: 8,142円		
体験行事	外出	令和 5年 11月 3日 (金) 10時 0分 ~ 16時 30分 場所: 上尾丸山公園
参加者数: 幼児 名 小学生 3名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名		小学生を対象に実施し、お弁当箱を持って集まってもらって実際に白米と冷凍食品をあらかじめ職員が準備をして電子レンジで温めて自分でお弁当箱に食べれる量を考えながら詰めてもらった。 むつみ荘から1時間ほどかかる上尾丸山公園へ作ったお弁当を持って行った。遊具で遊んだり、森の散策をして楽しんだ後、牧場に立ち寄り近隣のコスモス畑に立ち寄った際にコスモスの収穫ができたので母親にお土産として摘んで持ち帰ることができた。
費用: 5,712円		

トワイライト/誕生者祝い	配布	令和 5 年 11 月 13 日 (月) 18 時 30 分 ~ 19 時 0 分 場所: トワイライト室
参加者数: 幼児 5 名 小学生 5 名 中学生 5 名 母親 5 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他() 名		誕生者がいる月はお祝いをしている。一緒に食事をして全員でケーキを食べた。電気を消して光るものをろうそく代わりにして歌を歌いお祝いをした。 誕生者は恥ずかしそうに喜んでいた。
費用: 2,266 円		
施設間交流行事	外出	令和 5 年 11 月 12 日 (日) 9 時 0 分 ~ 15 時 30 分 場所: 秋ヶ瀬公園
参加者数: 幼児 7 名 小学生 7 名 中学生 4 名 母親 4 名 職員・実習生・Vr 6 名 その他() 名		車で秋ヶ瀬公園まで行き県内の3施設と合流して綱引きをしたりドッチボールをしたりリレーをするなど体を使った競技を行った。 苦手種目については無理せずに応援をしたり、その場にいることが難しくなった子どもについては職員が状況を把握したり話を聞くなりして対応した。 他施設との交流で体力的には疲れた様子を見せた子どももいたが楽しそうに参加していた。
費用: 9,131 円		
七五三	配布	令和 5 年 11 月 13 日 (月) 17 時 30 分 ~ 時 分 場所: 事務所
参加者数: 幼児 21 名 小学生 21 名 中学生 21 名 母親 21 名 職員・実習生・Vr 21 名 その他() 名		11/13 に全世帯に赤飯と卵焼き、マカロニサラダ、豚汁を渡している。 11/17には七五三の対象児は戸田市内フォトランドのご厚意により写真撮影を行った。着物を選んだり、女兒については化粧や男児も髪毛のセットをもらいいつもとは違った表情を見せていた。母親も成長した姿を嬉しそうに自身のカメラで撮影していた。12月に撮影された写真が届けられ母子ともに大変喜んでいた。
費用: 17,931 円		
クリスマス会	集会	令和 5 年 12 月 10 日 (日) 10 時 30 分 ~ 13 時 0 分 場所: 第二複合施設3階
参加者数: 幼児 18 名 小学生 8 名 中学生 4 名 母親 20 名 職員・実習生・Vr 13 名 その他() 名		4年ぶりに会食形式で開催を行なった。職員による出し物や演奏者をお招きしてコンサートを開催した。また、昼食には戸田市内の弁当を注文して子ども用と大人用のふたつのパターンで用意した。昼食後はサンタさんからのビデオレターとして放映し自宅のドアにプレゼントを届けたという設定で帰宅時にも楽しみを持たせる演出をした。ゲーム大会ではひとりずつ商品を準備し嬉しそうに子ども達は持ち帰っていた。後日、アンケートを実施し率直な意見を利用者児より伺った。
費用: 228,356 円		
トワイライト/誕生者祝い	集会	令和 5 年 12 月 11 日 (水) 18 時 30 分 ~ 19 時 0 分 場所: トワイライト室
参加者数: 幼児 5 名 小学生 5 名 中学生 5 名 母親 5 名 職員・実習生・Vr 1 名 その他() 名		一緒に食事をして、最後は部屋を暗くして歌を歌って実施している。 買って来たケーキは誕生者から選んでもらいみんなで食べた。
費用: 1,749 円		
冬至/ちんぷいぷい④	配布	令和 5 年 12 月 21 日 (火) 18 時 30 分 ~ 時 分 場所: 事務所
参加者数: 幼児 18 名 小学生 10 名 中学生 4 名 母親 20 名 職員・実習生・Vr 20 名 その他() 名		<メニュー> 白飯・カニご飯・かぼちゃの煮物・から揚げ・ホタテサラダ・煮物・鴨肉のパストラミ・豚汁 みんなで会食できることを楽しみにしていた方もいたが、感染症拡大の影響に考慮し会食での実施を見送っている。 自宅から皿や鍋をもってきてもらって自身で自由に持ち帰ってもらえるビュッフェ形式をとった。
費用: 23,836 円		
トワイライト/クリスマス	配布	令和 5 年 12 月 18 日 (月) ~ 23 日 (金) 場所: トワイライト室
参加者数: 幼児 8 名 小学生 8 名 中学生 8 名 母親 8 名 職員・実習生・Vr 8 名 その他() 名		利用児ている子ども達に菓子の詰め合わせ、学童で使用できるように折り紙、スクラッチアートを帰る際に渡したのでサプライズプレゼントとして喜ぶ姿があった。
費用: 4,113 円		
10,11,12月誕生会	配布	令和 5 年 12 月 22 日 (金) 18 時 0 分 ~ 18 時 30 分 場所: 事務所
参加者数: 幼児 3 名 小学生 2 名 中学生 2 名 母親 5 名 職員・実習生・Vr 5 名 その他() 名		感染症拡大の影響で他世帯と交流する形式ではなくプレゼントを事務所で渡す形式で実施した。 集会ではなかったので残念な声が聞かれた。
費用: 5,724 円		
小学生行事③/正月	集会	令和 6 年 1 月 7 日 (日) 13 時 0 分 ~ 15 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 4 名 小学生 4 名 中学生 4 名 母親 4 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他() 名		<正月行事> お手玉、けん玉、コマ、百人一首、福笑い、めんこ、すごろく、万華鏡キットを揃え、参加した子ども達と一緒に使い方などを伝えながら一緒に楽しんだ。 万華鏡キットは全員が挑戦し世界に一つだけのものを作っていた。「きれい〜」「見て〜」と子ども達の明るい声が聞かれた。
費用: 6,903 円		

もちつき大会	集会	令和 5 年 1 月 21 日 (日) 11 時 30 分 ~ 13 時 30 分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 17 名 小学生 9 名 中学生 4 名 母親 17 名 職員・実習生・Vr 13 名 その他 退所者 5 名		感染症拡大に気を付けながら実施に至る。利用者児にももちつきをしてもらい、職員以外がついたものについてはお渡しはしていない。 もちつきをする際は初めての子どももお不安そうに前の子どもがどうやっているかを見ている。また、母親も初めて経験すると照れながらもちをついている姿があった。乳児に関しては食べやすい誤飲を危惧し食べやすく作った。
費用: 30,030 円		
小学生行事④/クッキング		令和 6 年 1 月 28 日 (日) 11 時 0 分 ~ 14 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 名 小学生 4 名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他() 名		調理を体験することで自分で作る達成感を得られる経やバランスのよい食事を考えるきっかけになればという考えのもと実施に至る。 何を作るのか把握できていない子どももいたがハンバーグを作るにあたり包丁で野菜をみじん切りにしたり、丁寧な作業が求められたが慎重に包丁なども扱っていた。「自分で作ったから美味しかった」「とても美味しかった」「初めて作ったけど美味しかった」と声が聞かれた。
費用: 4,961 円		
節分	配布	令和 6 年 2 月 2 日 (金) 14 時 0 分 ~ 時 分 場所: 事務所
参加者数: 幼児 19 名 小学生 10 名 中学生 4 名 母親 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		感染症拡大の影響があり各世帯個包装の豆と恵方巻も一緒にお渡ししている。また、ぬりえも一緒に渡して自宅でぬったものを嬉しそうに見せてくれた。
費用: 1,984 円		
ちんぷいぷいwith商工会	配布	令和 6 年 2 月 15 日 (木) 17 時 30 分 ~ 時 分 場所: 事務所
参加者数: 幼児 19 名 小学生 10 名 中学生 4 名 母親 19 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		感染症拡大の影響を受けてお渡しすることにした。 戸田市商工会女性部の方6名をお招きして炊き込みご飯、味噌汁、小松菜と大豆とツナのサラダ、カップゼリーを作って頂いた。 利用者にはパックに詰めてお渡しをしいている。また、後日商工会女性部さんへのお礼のお手紙を書いて貰い渡している。
費用: 13,978 円		
ひなまつり	配布	令和 6 年 3 月 1 日 (金) 17 時 0 分 ~ 時 分 場所: 事務所
参加者数: 幼児 18 名 小学生 10 名 中学生 4 名 母親 18 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		事前にポスターにて掲示をしてお渡しのお知らせをした。 メニューはちらし寿司と焼き鳥ひとり2本、マカロニサラダを提供している。アレルギー世帯にはカニカマを使用していないものを渡している。
費用: 14,580 円		
小学生行事⑥/公園外出	外出	令和 6 年 3 月 17 日 (日) 13 時 0 分 ~ 15 時 30 分 場所: カマキリ公園
参加者数: 幼児 名 小学生 4 名 中学生 名 母親 2 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		車で上部公園/カマキリ公園へ行き湯具遊びをしいて楽しんだ。初めて遊ぶ遊具もあり子ども達同士大きな声を出しながら楽しんでいる様子が見られた。 遊んだ後は森が近くに併設されており、散策をした。
費用: 1,141 円		
1,2,3誕生日会	集会	令和 6 年 3 月 22 日 (金) 18 時 0 分 ~ 18 時 30 分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 名 小学生 名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		今年度最後の誕生日会ということで多くの方が参加できるように声をかけた。対象者も多くおり、みんなで歌のプレゼントをして新聞ゲームをして楽しんだ。 対象児にはプレゼントを渡して参加者にはジュースを渡した。
費用: 7,447 円		
母の会②	集会	令和 6 年 3 月 22 日 (金) 13 時 0 分 ~ 20 時 0 分 場所: 地域交流スペース
参加者数: 幼児 名 小学生 名 中学生 名 母親 7 名 職員・実習生・Vr 4 名 その他() 名		癒しの時間を提供するために「アロマストーン」制作を実施した。母親が制作に集中できる時間を設定したり、他利用者同士と会話しながら思い思いの作品を作っていた。 好きな匂いを他利用者に紹介したり、楽しい時間を過ごしていた。 軽食を提供し制作しながら話をして日頃、子どもとの過ごし方を口にして見られた。
費用: 20,854 円		

9. 職員研修・各種委員会

(1)職員研修

利用者の多様なニーズに対応し、質の高い支援サービスを効果的・効率的に提供するため、様々な研修機会を活用し、職員の資質向上を図った。

A. 施設内研修

9月 施設内研修 講師:淑徳大学 稲垣美加子教授講義

B. 施設内会議

職員間事例検討会(毎月の処遇会議)

職員会議(毎月の共有・伝達会議)

自立支援会議(毎月の進捗状況確認)

C. 施設間職員交流研修

5月 カーサライラック施設内研修 淑徳大学 稲垣美加子教授講義

「事例検討に必要な・十分な資料としての事例的方」(職員 2 名)

7月 関東ブロック母子生活支援施設協議会 施設長職員合同研修

(施設長1名、職員 2 名オンライン 1 名)

11月 施設間交流会「秋ヶ瀬公園 交流運動会」(県内4施設合同行事)

11月 県内施設「かしのき荘 20 周年行事」

12月 県外視察研修「FAH コスモス」(千葉県)

2月 関東プロ合同研修「生活再生事業の実践報告から学ぶ」(施設長 1 名 職員 1 名)

2月 県母協議会 実務研修会「子どもの理解とケア～こころへのまなざし～」(職員1名)

2月 県外視察研修「グリーンヒル相模原」(神奈川県)

D. 専門研修・キャリアアップ研修

6月 埼玉県社会福祉協議会 「生活保護制度入門」(オンライン 職員1名)

6月 AED 救急講習(職員1名)

8月 埼玉県社会福祉協議会 「ハラスメント防止研修」(オンライン 職員 1 名)

7月 日本社会福祉士会「社会福祉士実習フォローアップ研修」(職員1名)

7月 発達協会「夏のセミナー」(職員 2 名)

10月 感情マネジメント研修(オンライン 職員1名)

10月 埼玉県社会福祉協議会 「BCP 研修」(オンライン職員1名)

10月 埼玉県社会福祉協議会 「DWAT 災害派遣研修」(オンライン職員 2 名)

11月 埼玉県社会福祉協議会 「初任者のための文章作成報告のしかた研修」(オンライン)

11月 発達協会「秋のセミナー」(職員 6 名)

11月 埼玉県社会福祉協議会 「キャリアパス研修 チームリーダー」(オンライン職員1名)

12月 司法福祉全国研究集会(職員 1 名)

12月 学童職員中堅職員研修(職員 1 名)

1 月リコージャパン「生成 AI 研修」(職員 1 名)

1 月学童職員管理者研修(職員 1 名)

2 月 学童職員指導者研修(職員 1 名)

2 月 埼玉県社会福祉協議会「令和の若者 Z 世代の価値観を考える」(オンライン職員1名)

E. 防犯・不審者対応研修

実施せず。

(2)各種委員会

多様なニーズと質の高い支援サービスを効果・効率的に提供する為、ネットワーク構築を図った。

A. 母子生活支援施設協議会関係

埼玉県母子生活支援施設協議会 支援運営向上委員会(基幹的職員1名・少年指導員1名)

埼玉県母子生活支援施設協議会 施設長会議(施設長)

全国母子生活支援施設協議会 役員会(施設長)

B. 地域団体委員会等

埼玉県母子生活支援施設協議会 会長

関東ブロック母子生活支援施設協議会 副会長

戸田市社会福祉法人連絡会 副会長

関東ブロック母子生活支援施設協議会 選挙対策委員

全国母子生活支援施設協議会 協議員・総務委員

埼玉県ドメスティック・バイオレンス対策関係機関 構成委員

埼玉県DV被害者支援計画策定委員会 種別代表委員

埼玉県災害福祉支援ネットワーク設置 運営委員

埼玉県社会福祉施設種別協議会 協議員

埼玉県社会福祉大会 選考委員

埼玉県社会福祉連絡協議会 協議員

社会福祉法人わかさ会 評議員選任・解任委員

社会福祉法人による社会貢献活動 運営委員

蕨市地域自立支援協議会 協議員

戸田市要保護児童対策委員 会員

戸田ライオンズクラブ 理事

戸田市スキー連盟 理事

戸田市社会福祉協議会 評議員

埼玉県社会福祉協議会 評議員

埼玉県共同募金会戸田市支会 評議員

埼玉県社会福祉共助会 監事

社会福祉法人普門会 監事

社会福祉法人由慎会 理事

10. 視察関係

(1) 視察実施場所及び参加職員数

視察実施年月日	視 察 場 所	参加職員数
R5. 11. 23	かしのき荘(設立20周年)	1名
12. 15	グリーンヒル相模原	1名
R6. 2. 28	FAHこすもす	4名

(2) 視察に来荘した機関名及び人数

視察来荘年月日	機 関 名	視 察 人 数
R5. 4. 27	戸田市議会議員	1名
8. 25	衆議院議員・戸田市議会議員他	4名
9. 29	埼玉県社会福祉協議会職員他	4名
10. 28	広島大学教授・滋賀県のぞみ会	4名
11. 27	代々木アニメーション講師・学生	2名
6. 2. 20	戸田市議会議員	2名

11. 外部への講師派遣

むつみ荘及び母子生活支援施設の役割と機能を広報する目的と、職員の資質を活用し、教育指導を担うものとして、外部団体及び学校等からの講師依頼に対して、今年度においても、下記の通り職員を派遣した。

実施日	場 所	内 容	派遣職員
R5.7.9	戸田市社会福祉協議会	学習支援ボランティア養成講座	基幹的職員
R5.12.1	戸田市社会福祉協議会	精神保健ボランティア養成講座	基幹的職員

12. 防災訓練

火災・台風・水害に備え、通報・防火防災・避難訓練を行った。消火訓練は、状況に合わせ、小学生と母を一緒に行うなど臨機応変に実施できた。また、地域の防災情報を得る目的で、母子会主催の防災講座に参加でき有意義だった。加えて、全国的に災害の多い現状において、初めての炊き出し訓練を実施した。利用者の意識を高く保った訓練ができたものと思われる。反省を活かし、今後も継続して訓練したい。

実施日	訓練概要	摘要
4月13日	担当者会議	防災訓練の目的を担当者で話し合い、年間計画の実行案を整理し、担当職員の役割分担を行った。
4月25日、27日	図上訓練	職員用の防災マニュアルの読み合わせを行い、緊急時の対応の周知徹底を行う。(全職員を対象にするため、同様の内容で2回行った)
4月25日	消火訓練	入所母を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
5月8日	消火訓練	入所母を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
6月4日	防災講座	職員が母子会で行う防災講座に参加し、防災に関する情報収集(地震・大雨対策)を行った。
6月30日	消火訓練	入所母を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
6月27日	消防設備保守点検(駒崎商会)	災害時に備え、業者による消防設備に伴う一連の点検を行った。
7月29日	消火訓練	入所母子を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
7月27日	水害訓練	職員を対象に、内水氾濫の設定で、止水シートの使い方を実際の設置場所にて確認をした。
8月30日	消火訓練	入所母を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認と、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
9月7日	消火訓練	入所母を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難訓練と、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
9月15日	館内放送訓練	全世帯・職員を対象に、荘内放送での連絡訓練を行った。
10月1日	通報・避難・消火・炊き出し訓練、備品確認	火災を想定し、館内放送と居室からの避難、また消防署員による、消火訓練を行った。その後、防災備品の確認・防災食の実食体験を行った。
11月7日	消火訓練	入所母子を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
12月29日	消火訓練	入所母を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認と、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
12月27日	消防設備保守点検(駒崎商会)	災害時に備え、業者による消防設備に伴う一連の点検を行った。
1月8日	消火訓練	入所母を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難訓練、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
2月27日	消火訓練	入所母子を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難訓練、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
3月14日	消火訓練	入所母を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難訓練、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。

種別	火災	地震	水害	その他	延べ訓練回数
	13	3	1	5	
対象	全体	職員	母親	児童	延べ対象回数
	4	4	11	3	

13. 保健衛生環境整備

今年度も、保健・衛生環境整備のため、毎月各居室の点検や年2回の定期健康診断などを行った。集団生活である施設においては、清潔さの維持や利用者の健康状況を把握することで、集団感染や病気等を未然に防ぐことができるためである。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、環境整備に努めた。以下、表参照のこと。

実施時期	実施項目	実施概要
5月	害虫駆除 (殺虫剤配布)	利用者世帯にゴキブリキャップを配布 その他、施設内の静養室・集会室・3階キッチン・洗濯室・ショートステイ室にゴキブリキャップを配置
10月以降	インフルエンザ予防接種 (職員)	各自日程調整して病院にて接種
定期的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の清掃 ・年末大掃除(居室・館内) ・各階廊下の清掃 ・館内(居室含む)の排管清掃 ・定期健康診断(入所者) ・救急用品等の設置管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月初めに、各居室の水周りを中心に掃除や整理整頓具合を点検。必要に応じて助言や清掃手伝いを行った。館内年末大掃除と居室の排管清掃は、業者に依頼した ・定期健康診断は日程調整を行い、世帯ごとに嘱託医にて受診した(年2回) ・行事や緊急時に使用できるように、救急用品を常備、静養室に設置し管理した
毎日行うもの	・各居室の衛生環境整備に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターに依頼し、階段など共有スペースや玄関周り、玄関前道路、駐車場の清掃を平日に実施した ・土日は、上記箇所を職員が清掃をした ・各階利用者の当番制で共有廊下の清掃(モップ掛け)を毎日行った

【感染症対策】

- ・玄関、事務所前、各階エレベーター前にアルコール消毒液を設置
- ・事務所、集会室に設置してあるオゾン除菌空気清浄機を年中稼働させた
- ・感染症が発生した場合に必要な物品の確保
- ・感染症流行時には掲示をして利用者に周知、集会は感染拡大防止のため中止もしくは形式を変更して実施した

14. 寄附及び招待事業受入

当年度もたくさんのご寄付・ご招待をいただいた。紙面を借りて深く感謝申しあげたい。

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
1	5.4.4	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ他13個(利用者配布)
2	5.4.11	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
3	5.4.14	コンパスナビ	春物衣類(10点)・化粧品(化粧水・クリーム・ファンデーション・口紅等)
4	5.4.15	ニチレイ	ナス・から揚げ・和風野菜・枝豆
5	5.4.21	戸田市商工会理事 福田 政文	かぶ、大根、人参、ほうれん草、里芋、キャベツ、長ネギ、米
6	5.4.24	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	水菜、セロリ、ほうれん草、レタス、キャベツ、小松菜、玉ねぎ オレンジ
7	5.5.2	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	セリ、オレンジ、リンゴ、イチゴ、バナナ、トマト、なめこ、ほうれん草、水菜、長ネギ、キャベツ、岡ひじき、インゲン、小松菜、ズッキーニ
8	5.5.9	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
9	5.5.12	戸田市商工会理事 福田 政文	グリーンピース4籠、長ネギ1箱
10	5.5.18	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ他16個(利用者配布)
11	5.5.20	ニチレイ	特から・里いも・冬瓜
12	5.5.25	株式会社コープクリーン	泡のせっけん洗顔フォーム24×2箱、詰め替え24×2箱、 セフターエナジー10×5箱、入浴剤12×3箱
13	5.5.27	戸田市商工会理事 福田 政文	株、人参、ネギ、赤パプリカ、キュウリ、セロリ
14	5.5.27	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	キウイ、芽ひじき、ミニトマト、エノキ、レンコン、キャベツ、ブロッコリー、小松菜、レタス、ズッキーニ、ソラマメ、人参、なめこ、ミカン玉ねぎ、もやし、りんご
15	5.6.3	戸田市商工会理事 福田 政文	蕪、白菜、ほうれん草、大根、いんげん、長ネギ、玉ねぎ、じゃがいも、水菜
16	5.6.9	石窯パン工房暖家	コーンパン、アンドーナッツ他11個(利用者配布)
17	5.6.9	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	長ネギ、オクラ、水菜、ほうれん草、エリンギ、バナナ、蕪 パプリカ
18	5.6.12	石窯パン工房暖家	コーンパン、アンドーナッツ他13個(利用者配布)
19	5.6.13	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
20	5.6.15	石窯パン工房暖家	バーガー、アンドーナッツ他12個
21	5.6.16	戸田市商工会理事 福田 政文	長ネギ、大根、青菜、みつば、人参、ブロッコリー、ピーマン、豆腐 台所用品(ラップ、洗剤など)
22	5.6.17	ニチレイ	むねから・フライドチキン・いんげん
23	5.6.17	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	大根、じゃがいも、玉ねぎ、メロン、しめじ、人参、なす、エリンギ リンゴ1箱、白菜、小葱、ブロッコリー、アスパラ
24	5.6.20	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ他14個(L-café)
25	5.6.23	戸田市商工会理事 福田 政文	じゃがいも、キャベツ、キュウリ、ホウレンソウ、ミニトマト 洗剤類
26	5.6.27	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ・あんぱん他20個(利用者配布)
27	5.6.29	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ・ピザ・サラダ・バーガー10個(L-café)
28	5.6.30	戸田市商工会理事 福田 政文	もやし、鶴紫、玉ねぎ、キャベツ、青梗菜、きゅうり

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
29	5.7.5	石窯パン工房暖家	あんぱん・ピザ・サンドウィッチ他10個(L-café)
30	5.7.5	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	スイカ6、メロン3、じゃが芋2箱、大根5本、長ネギ16本、小葱4本、オクラ10本、ブルーベリー6パック、モロヘイヤ3袋、パプリカ20個、小松菜5袋、ほうれん草3袋、卵2パック、ウズラ煮豆2袋、プラム12個、人参12本、キャベツ1、レタス1、ナス3袋
31	5.7.6	石窯パン工房暖家	あんぱん・ピザ・サンドウィッチ他33個(利用者配布)
32	5.7.7	戸田市商工会理事 福田 政文	じゃがいも、トウモロコシ、人参、青梗菜、白菜、キャベツ、大根きゅうり
33	5.7.11	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
34	5.7.11	石窯パン工房暖家	あんぱん・ガーリックトースト・サンドウィッチ他16個
35	5.7.12	石窯パン工房暖家	サンドイッチ・コロケパン・バケツ他12個(利用者配布)
36	5.7.15	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	かぼちゃ、キャベツ、バナナ、、ほうれん草、青梗菜、水菜、小玉スイカ、ごぼう、トマト、エリンギ、とうもろこし
37	5.7.21	戸田市商工会理事 福田 政文	スイカ・えのき・玉ねぎ・いんげん
38	5.7.24	戸田市子ども家庭課	コピー用紙、シヨレッター、電気ポット、ゴミ袋、ホワイトボード用ペン
39	5.7.30	善能寺 (職員:田中の知人)	菓子8箱、ゼリー20個、フルーツ7個(寺でお供え物として檀家から頂いたもの、お中元として頂いたもの)
40	5.8.1	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
41	5.8.4	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	小松菜、きゅうり、とうもろこし、パプリカ、バナナ
42	5.8.12	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	水菜、キウイ、かぼちゃ、冬瓜、なめこ、エリンギ、白菜、人参ピーマン、スイカ他
43	5.8.19	ニチレイ	竜田揚げ
44	5.8.23	戸田市商工会理事 福田 政文	キャベツ6玉、大根8本
45	5.8.23	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	キャベツ、大根、なめこ、パプリカ、トマト、小葱、とうきび、キウイ梨、ブドウ、ブロッコリー
46	5.9.1	戸田市商工会理事 福田 政文	玉ねぎ1箱、じゃがいも1箱、冬瓜
47	5.9.8	戸田市商工会理事 福田 政文	ナス、大根、かぼちゃ、キャベツ
48	5.9.11	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	蕪、、大根、小松菜、トマト、メロン、梨、モロヘイヤ、エリンギ、タケノコ水煮、人参、水菜、オクラ
49	5.9.12	株式会社大崎 PIZZERIA OHSAKI 六本木 雅晴	ピザ41枚
50	5.9.12	戸田市商工会理事 福田 政文	キャベツ、人参、油揚げ、玉ねぎ、里芋
51	5.9.14	石窯パン工房暖家	サンドイッチ・あげぱん他8個(利用者配布)
52	5.9.16	ニチレイ	チキンステーキ・野菜かき揚げ・ブロッコリー
53	5.9.20	石窯パン工房暖家	アンドーナッツ。サンドイッチ他16個(利用者配布)
54	5.9.22	戸田市商工会理事 福田 政文	大根、人参、エノキ、長ネギ、リンゴ、里芋、青梗菜
55	5.10.3	戸田市子ども家庭課 (ライオン製品)	プラズマススポーツ飲料24本×3箱 洗剤3セット入り×5箱
56	5.10.3	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
57	5.10.3	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	水菜、白菜、トマト、エリンギ、玉ねぎ、リンゴ、梨、ミカン、バナナ
58	5.10.10	石窯パン工房暖家	サンドイッチ・ハンバーガー他17個(L-café)

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
59	5.10.13	戸田市商工会理事 福田 政文	水菜1、ほうれん草3、青梗菜1、ナメコ、きゅうり3、しいたけ15
60	5.10.16	戸田市商工会	商工祭ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい無料券40枚
61	5.10.18	石窯パン工房暖家	サンドイッチ・ハンバーガー他16個(利用者配布)
62	5.10.19	コンパスナビ	冬用ブーツ14足、パンツ、ボタンシャツ
63	5.10.20	ヤオコー子ども支援財団 (埼玉県少子政策課経由)	米5キロ×3袋
64	5.10.20	戸田市商工会理事 福田 政文	みかん1箱
65	5.10.21	ニチレイ	鶏ももカットチキン・あぶり焼きチキン・オクラ
66	5.10.27	戸田市商工会理事 福田 政文	小松菜、白菜、キャベツ
67	5.11.1	石窯パン工房暖家	ハンバーガー・アンドーナッツ。明太子パン・フランスパン他23個
68	5.11.3	戸田市商工会理事 福田 政文	トマト、大根、ほうれん草、きゅうり、人参、舞茸、エリンギ、椎茸 キャベツ、ベビーコーン、ピーマン、えのき、しらたき
69	5.11.10	戸田市商工会理事 福田 政文	エリンギ、エノキ、もやし、蕪、インゲン
70	5.11.14	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
71	5.11.16	生協連	玄米30キロ×10袋
72	5.11.17	戸田市商工会理事 福田 政文	大根、トマト、サラダ菜、キャベツ、しめじ、レタス、キュウリ、人参 サツマイモ、那須、ベビーコーン、エノキ、春菊、ほうれん草、サニーレタス
73	5.11.18	株)日吉	しめじ1k×120P リンゴ10箱 南瓜2箱 空気清浄機1台
74	5.11.18	ニチレイ	スライスパストラミ・ピーマン肉詰め・枝豆
75	5.11.20	戸田市商工会理事 藤田 安志 (一般社団つむぎmarket)	キャベツ、長ネギ、蕪、バナナ、きゅうり、ほうれん草、牛蒡 カリフラワー
76	5.11.24	戸田市商工会理事 福田 政文	大根菜、大根、ほうれん草、きゅうり
77	5.11.30	株)日吉	赤大根7箱、はなびらたけ1箱、たまねぎ2箱、かぶ、ほうれん草1箱、空気清浄機1台
78	5.12.1	戸田市商工会理事 福田 政文	キノコ他
79	5.12.4	株)日吉	バナナ20箱(2000本)
80	5.12.5	株)コープクリーン	柔軟剤他
81	5.12.5	戸田市商工会	フランクフルト
82	5.12.6	ロクシタン	化粧品セット
83	5.12.11	株)日吉	大根、舞茸、長ネギ
84	5.12.12	戸田市商工会	うまい棒、ラムネ他
85	5.12.12	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
86	5.12.14	あんしんセーフティネット ワーク	おでんパック
87	5.12.15	戸田市社協	ハヤシライス(レトルト)、パックご飯
88	5.12.15	戸田市商工会理事 福田 政文	大根、ほうれん草、小松菜、キノコ、トマト、レタス

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
89	5.12.16	ニチレイ	ねぎ塩焼き鳥・から揚げ・枝豆・コーン
90	5.12.18	株)日吉	マッシュルーム2箱、黒あわび茸2箱、りんご6箱
91	5.12.18	埼玉県書店商業組合 日本出版クラブ	寄贈図書(64冊と紙芝居3つ)
92	5.12.20	資生堂子ども財団	純白専科 美容液・美容水セット20セット
93	5.12.20	和光市社会福祉協議会	洋菓子30箱(フードパントリー)
94	5.12.20	日本出版販売株式会社	寄贈図書(98冊と紙芝居4つ)
95	5.12.21	NPOケアネーション	フェイシャルクリーム8箱クリームマスク2箱ハンドジェル2箱ファンデーション2箱エッセンスイントナー3箱シャージ1箱
96	5.12.22	戸田市商工会理事 福田 政文	バナナ1箱
97	5.12.23	株)日吉	さつまいも6箱、いちご20パック
98	6.1.5	戸田市商工会理事 福田 政文	白菜、トマト、しめじ、菜の花他
99	6.1.10	一般社団法人 パンクフォースマイルズ	貼る温オンボックス、シャンプー、シートマスク、化粧品他
100	6.1.11	石窯パン工房暖家	サンドイッチ他14個(L-café)
101	6.1.12	株)コープクリーン	カビ取り剤12×2箱 付け替え12×2箱
102	6.1.12	戸田市商工会理事 福田 政文	みかん1箱
103	6.1.14	株)日吉	大根40本、しめじ、パイン30個
104	6.1.19	戸田市商工会理事 福田 政文	白菜、キャベツ、ベビーコーン、レタス、エノキ、ピーマン、しめじ、 小松菜、大根、パプリカ、キュウリ、ズッキーニ、人参、インゲン 椎茸、牛蒡、サラダ菜
105	6.1.20	ニチレイ	里芋・から揚げ串・若鳥香り揚げ
106	6.1.26	戸田市商工会理事 福田 政文	白菜、大根、絹ごし豆腐、みかん
107	6.1.29	株)日吉	バナナ、大根
108	6.2.2	石窯パン工房暖家	サンドイッチ他15個
109	6.2.2	戸田市商工会理事 福田 政文	しめじ、パプリカ、トマト、ほうれん草、じゃがいも、玉ねぎ他
110	6.2.5	株)日吉	山茶茸1箱、メークイン3箱、ほうれん草1箱
111	6.2.13	越谷市自立相談よりそい	子ども紙おむつS/M/L 段ボール12箱
112	6.2.14	カーブス三室店	食料・食材・飲料・お菓子他
113	6.2.14	カーブス浦和イースト店	食料・食材・飲料・お菓子他
114	6.2.16	戸田市商工会理事 福田 政文	きのこ、トマト、レタス、大根、ベビーコーン他
115	6.2.17	ニチレイ	ナス・カットポテト
116	6.2.17	カーブス戸田新曽店	食料・食材・飲料・お菓子他
117	6.2.17	カーブス上青木西店	食料・食材・飲料・お菓子他
118	6.2.19	株)日吉	舞茸3箱、えのき2箱、しめじ2箱、かぶ2箱

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
119	6.2.19	カーブス東浦和店	食料・食材・飲料・お菓子他
120	6.2.19	カーブスベルクス戸田店	食料・食材・飲料・お菓子他
121	6.2.21	埼玉県ひとり親福祉連合会	パイの実、コアラのマーチ各30袋
122	6.2.21	社会福祉協議会	靴下
123	6.2.23	戸田市商工会理事 福田 政文	ミカン、リンゴ 1箱
124	6.2.26	株)日吉	れんこん3箱、はる玉ねぎ1箱、かき菜?1袋
125	6.3.4	株)日吉	れんこん2箱、じゃがいも5箱、豆腐1箱
126	6.3.11	株)日吉	かぶ、みずな、ホワイトアスパラ
127	6.3.15	戸田市商工会理事 福田 政文	牛蒡、レタス、キャベツ、大根、ほうれん草、ズッキーニ、トマト、きのこ、芋、人参
128	6.3.15	熊木さん (あんしんセーフティ)	女兒式服(小学校卒業時)スカート、ジャケット、ブラウス
129	6.3.16	ニチレイ	ちよびちき・竜田揚げ・かき揚げ・しいたけ肉詰め天ぷら
130	6.3.25	株)日吉	かぶ、じゃがいも、さつまいも、ホワイトアスパラ
131	6.3.25	セブンイレブン	パックご飯、コーンスープ、ソース焼きそば、ビーフカレー
132	6.3.30	ボランティアグループ かすみ草	レッスンバック等入学準備品

15. 母親懇談会

母親懇談会は、職員からの連絡事項を伝え、利用者からの要望や意見を聞く会合である。生活環境改善や子育てについての意見交換をする機会ともなっている。小中学生行事・学習会などについて伝える機会としても活用した。

実施日	出席者数	No.	議題	保育
第 116 回 R5 年 7 月 13 日(木)	母親 12 人 職員 4 人	1 2 3 4 5 6 7 8 9	新しい利用者さんの紹介 施設行事について 地域の行事 夜間対応について 実習生の受け入れについて ゴミ出しについて 電気代について その他 アンケート結果 <付録>夏の季節の注意事項 夏休みの過ごし方(小学生用) 防災<<水害>>について	15 人 職員 3 人 実習生 1 人
第 117 回 R5 年 12 月 1 日(金)	母親 8 人 職員 4 人	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	届出用紙のお願い 事務所の職員体制について 年末大掃除(12 月の居室点検) 荘内清掃について 実習生について みんなの行事 消防設備点検について ゴミの分別について 玄関暗証番号について みつばち利用について 感染症について その他	6 人 職員 4 人
第 118 回 R5 年 3 月 15 日(金)	母親 9 人 職員 4 人	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	新しい利用者の紹介 共益費と積立金について 外出、外泊、宿泊、来客について 防犯について 建物検査について 令和 5 年度年間行事について 要望等解決委員会 SNS の使用について お願い その他、アンケートについて <付録>春休みの過ごし方	6 人 職員 5 人
計 3 回	計 41 人			計 27 人

16. 実習受入状況

福祉人財及び後進の育成という社会的責務を担い実践するべく、コロナ禍の今年度においても、大学院、大学、短大及び各養成校から実習生の受入を行った。実習期間は資格によって異なり、保育士は1日8時間を10日間～12日間、社会福祉士は1日8時間を8日間～1か月、公認心理師は1日2～4時間を約1日～20日間程度で受入れ期間を設けた(日曜祝日は実習期間に含まず)。

【令和5年度 実習生受入状況】

実習期間			養成校名	取得資格名
開始	開始開始～終了終了	【日数換算】	学校名	区分
令和5年	5月16日(火)～8月22日(火)	【7日間】	早稲田大学院	公認心理師
	5月23日(火)～1月30日(火)	【27日間】	早稲田大学院	公認心理師
	5月30日(火)～6月9日(金)	【10日間】	埼玉教育学院専門学校	保育士
	6月3日(土)～9月30日(土)	【23日間】	大正大学	公認心理師
	6月6日(火)～1月30日(火)	【33日間】	大正大学	公認心理師
	6月8日(木)～6月29日(木)	【4日間】	早稲田大学	公認心理師
	6月10日(土)～2月8日(木)	【18日間】	早稲田大学院	公認心理師
	6月12日(月)～7月29日(土)	【22.5日間】	上智大学	社会福祉士
	6月13日(火)～2月27日(火)	【20日間】	早稲田大学院	公認心理師
	7月6日(木)～8月31日(木)	【8日間】	早稲田大学	公認心理師
	7月15日(土)～2月29日(木)	【20日間】	早稲田大学院	公認心理師
	7月25日(火)～7月26日(水)	【2日間】	東京こども専門学校	保育士
	7月26日(水)～3月30日(土)	【13日間】	早稲田大学院	公認心理師
	8月1日(火)～8月14日(月)	【12日間】	聖徳大学	保育士
	8月10日(木)～3月28日(木)	【28日間】	早稲田大学院	公認心理師
	8月15日(火)～11月14日(火)	【22.5日間】	山梨県立大学(前期・後期)	社会福祉士
	9月4日(月)～10月5日(木)	【22.5日間】	文京学院大学(中断)	社会福祉士
	9月5日(火)～3月26日(火)	【29日間】	東京成徳大学院	公認心理師
	9月6日(水)～10月4日(水)	【4日間】	早稲田大学院	公認心理師
	9月7日(木)～3月28日(木)	【28日間】	東京成徳大学院	公認心理師
10月4日(水)～1月31日(水)	【32日間】	大正大学	公認心理師	
10月10日(火)～10月31日(火)	【7.5日間】	日本福祉教育専門学校	社会福祉士	
10月11日(水)～2月6日(火)	【13日間】	早稲田大学院	公認心理師	
10月12日(木)～3月28日(木)	【22日間】	早稲田大学院	公認心理師	
10月12日(木)～11月16日(木)	【6日間】	早稲田大学	公認心理師	
11月6日(月)～11月18日(土)	【12日間】	浦和大学	保育士	
令和6年	1月15日(月)～1月27日(土)	【12日間】	東京家政大学	保育士
	2月1日(木)～2月10日(土)	【7.5日間】	十文字学園女子大学	社会福祉士
	3月4日(月)～3月14日(木)	【10日間】	越谷保育専門学校	保育士
	3月18日(月)～3月30日(土)	【12日間】	日本児童教育専門学校	保育士

保育士 4名
 社会福祉士 4名
 公認心理師 18名(院生:12名、学部生:6名)

実習生延べ 26名

1. 保育士実習

保育実習生6名と保育ボランティア1名を実習として受け入れた。養成校からの依頼は年々増えており、今年度の依頼は17校30名程の依頼を受けたが、実際に実習の実施に至った養成校は6校6名に留まった。その背景には当施設は、社会福祉司や心理士の学生も資格取得のため実習の受け入れをしている。同時期に複数名の受け入れをすることは難しいことが考えられる。しかし、保育士として資格を取得するために必要とされる実習については可能なかぎり養成校とも調整をして今後も受け入れを柔軟にしていきたいと考えている。

2. 社会福祉士実習

社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習にて、6名を受け入れた。前期・後期に分けて実習を行う学生には、柔軟に対応した。また、児童虐待やDVの被害を受けた母子を支援する場では、支援者自身の過去が刺激されることがある。これまで、養成校と密に連絡を取りあい、実習生の指導に当たってきたが、本年度は、実習中断のケースが1名あった。

3. 公認心理師実習

本実習は、心理士を目指す大学生・大学院生にとって、母子生活支援施設とその関連事業を学ぶよい機会となっている。本年度は3校から年間を通じて受け入れた。活動場所は例年通り、学習支援センターを中心に、荘内学習会に参加するが、初めてトワイライトステイでも受け入れた。複数の実習生を同日に受け入れる場合、職員への申し送りや児童数との調整が課題となった。また、見学実習は延べ15名受け入れた。引き続き、養成校との連携を密に行い、実習生やその指導者を通じて大学での専門的な知識を現場に取り入れる契機としたい。

17. 利用問合せ状況

母子生活支援施設利用希望者及び福祉事務所等関係機関からの問い合わせについて、集計した。なお、当事者からの直接の相談には、施設利用の仕方から窓口の紹介まで丁寧に対応し、他の相談機関につながりやすくなるよう配慮した。

受付日時	受付日時	問合せ種別	世帯種別	児童種別	補足
令和5年	4月19日(水)	空室	既婚・DV	乳幼児・小2	モラハラ
	5月11日(木)	空室・見学	既婚・DV	乳児・小2	外国籍
	5月30日(火)	空室	DV	乳児	外国籍
	6月5日(月)	空室	DV	不明	シェルター利用中
	6月5日(月)	空室	DV	小学生	父からのDV
	6月9日(金)	空室・広域	DV	乳児	実家が近隣の市
	6月9日(金)	広域	未婚	妊婦	
	6月9日(金)	空室	既婚	妊婦	精神疾患
	6月9日(金)	空室	既婚		実家が近隣の市
	6月23日(金)	空室・他			利用方法の説明
	6月23日(金)	空室		幼児3名	
	7月10日(月)	入所			
	7月21日(金)	空室・見学	未婚	幼児	
	8月2日(水)	入所	DV	乳児	シェルター入所
	8月30日(水)	空室	妊婦	妊婦	出産後利用希望
	9月1日(金)	空室	DV・虐待	幼児2名	本人より連絡
	9月1日(金)	入所	虐待		本人より連絡
	9月14日(木)	空室	DV	幼児	一時保護中
	9月14日(木)	空室・入所	離婚・DV	幼児2名	他母子施設入所、外国籍
	9月20日(水)	空室・入所			
	10月1日(日)	空室	DV・虐待	幼児3名	シェルター入所、外国籍
	10月26日(木)	空室		児童2名・幼児1名	
	11月2日(木)	空室			
	11月9日(木)	空室			
	11月29日(水)	空室			
	11月29日(水)	空室	DV	児童1名	
12月5日(火)	空室	DV		外国籍	
令和5年	12月13日(水)	空室・入所		乳児1名	外国籍
	12月25日(月)	空室・入所	離婚・DV	児童2名・幼児1名	
	12月26日(火)	空室	DV	児童2名・幼児1名	
	1月9日(火)	空室	DV		
	1月16日(火)	空室			
	1月31日(水)	空室			
	2月1日(木)	空室			
	2月13日(火)	空室			
	2月13日(火)	空室		子ども3人	
2月14日(水)	空室				

延べ問合せ件数

42 件

(一部集計)

DV 19 件
 入所手続き 0 件
 妊婦 3 件

18. 地域交流及び協力実績報告

「子育て支援・経済的困窮者支援・災害派遣等」については、施設の持っている機能を活用することを考え、関係機関等と連携を図り地域に貢献できる施設作りを促進している。

実施月	名称・団体名	内 容	備 考
通年	子ども110番の家	小学生等下校途中の児童のトイレ利用に施設を開放	
	戸田ライオンズクラブ	奉仕活動及び連携	
R5. 5. 15	共助会監査		
24	戸田市児童福祉審議会		
29	共助会役員会		
6. 13	社会貢献運営委員会		
14	県社協役員会		
16	市社協役員会		
7. 4	社会貢献連絡会		
12	要保護児童対策代表者会議		
8. 4	戸田市児童福祉審議会		
8	県福祉大会運営委員会		
9. 5	共助会役員会		
28	戸田市児童福祉審議会		
10. 5	県DV対策連携会議		
11. 2	県福祉大会		
16	社会貢献運営委員会		
28	県社協役員会		
12. 18	共助会役員会		
22	(福)由慎会理事会		
R6. 1. 25	県賀詞交歓会		
2. 19	社会貢献運営委員会		
3. 18	共助会役員会		
21	県DV対策連携会議		
26	県社協役員会		

19. 事故報告・苦情解決

事故への適切な対応と改善は、利用者の安心安全のためには重要である。また、利用者や近隣から、むつみ荘の取り組みに対して、さまざまな意見を頂ける機会と前向きに捉えたい。むつみ荘では、母向けの要望箱、子ども相談箱、母親懇談会、苦情要望解決委員、第三者委員などを通じて、忌憚のない意見を表明しやすい場を目指している。今年度は、年3回開催する母親懇談会の前に、臨時要望箱を事務所に設置した。

母ひとりひとりに用紙を配布し、施設側に聞きたいこと、要望、苦情などを投函してもらい、母親懇談会で回答する形式を取った。2件の要望、意見を頂き回答している。

【苦情解決】

母 2件 「施設内環境」「職員対応」

子 2件 「家族内トラブル」

【事故分析】

R5年5/26 R4年度 第2階事故等検討会 開催

R5年11/24 R5年度 第1回事故等検討会 開催

3. 第二種社会福祉事業 むつみ荘児童一時預かり事業

(一時預かり保育室たんぽぽルーム)

令和5年度 事業報告

前年度に引き続き市役所からの協力を得ながら、一時預かり保育事業周知のために公共施設へのチラシ配布や、保育士が子ども達と散歩へ出掛けた際に地域の保護者へチラシ配布を実施した。前年度からの継続利用の方や新規登録者には子育て中の友人や知人にチラシを渡していただけるよう呼びかけを行った。ホームページを見ての問い合わせも多く、結果として今年度も新たな登録・利用に繋げることができた。電話受付時や一時預かり保育登録へ訪れた保護者の相談に応じて、子ども達の発育・発達への支援・ニーズに応じた保育を実施した。

預かり理由としては、就労・通院・リフレッシュが多く、姉兄の学校・幼稚園行事への参加・登園できない子どもの保育や保育園への入園による慣らし保育等を受け入れた。また幼稚園の休園時には母の就労支援のための長時間保育も行った。様々な利用理由に対応しながら、保護者へ子どもの様子についても可能な限り伝え、安心・安全に配慮しながら室内や屋外で保育を実施した。登録面談の際には、子どもの日頃の様子や食事・アレルギー・睡眠時の様子など細かく聞き取り、保護者が一時預かり保育について正しく理解していただいた上で利用していただけるよう心掛けた。食事面では保護者の負担軽減を考慮し、希望者には保育園と同様の給食を実施した。色々な食材を体験すること、栄養バランスを十分に確保し、楽しい雰囲気の中で食事指導にも力を入れ、スプーン・フォークの使い方を覚えていくことや咀嚼等も取り組んだ。アレルギー除去食、離乳食の場合は引き続き弁当での対応を保護者に説明しお願いをした。また水分補給に関しては、子どもの健康・安全のバロメーターのため、その子の必要性に応じて摂取を心掛けた。午睡においては安全面を十分に考慮し、プレスチェック・視診等を行った。誕生日やクリスマス、退園児へは製作プレゼントも用意してお渡した。

ショートステイでは受け入れた子どものニーズに合わせ保育所の送迎を行った。引き続き、安心・安全に配慮しながらより家庭に近い環境のなかで預かり保育ができるよう心掛けていきたい。

令和5年3月31日現在

区分	買い物・美容院等		傷病等での通院		習い事 (自動車・パソコン)		就労 (一般的な仕事)		リフレッシュ		地域活動 (公民館活動等)		学校・幼稚園等の 公的行事への参加		その他		合計	
	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間
1歳			1	3.0			4	20.5	4	13.5					3	14.0	12	51.0
男							1	4.5							3	8.0	4	12.5
女																		
2歳			5	14.5			25	184.5	5	39.0			1	2.5	1	2.0	37	242.5
男							1	7.5	1	2.0			1	3.5	5	17.5	9	30.5
女	1																	
3歳			3	11.0			42	283.5					1	2.0			46	296.5
男													1	5.5	9	65.5	12	80.0
女			1	3.5					1	5.5			1	5.5				
4歳																		
男																		
女																		
5歳																		
男																		
女																		
6歳							8	67.5									8	67.5
男																		
女																		
学童																		
男																		
女																		
合計	1	0.0	10	32.0	0	0.0	81	568.0	11	60.0	0	0.0	4	13.5	21	107.0	128	780.5

総合 (延べ)	128名 781時間
実人数	110名

4. 第二種社会福祉事業 子育て短期支援事業

令和5年度 事業報告

1. トワイライトステイ事業

小学1年生から6年生の児童を養育している家庭の保護者が、仕事等の理由に学童の迎えが間に合わない場合に、児童を午後5時から午後9時30分まで市が委託したむつみ会にて有料でお預かりする事業である。

今年度は市内の小学校4校11名の登録があり、学年としては1～5年生が利用した。特に1～3年生までの利用頻度が高い傾向にあった。主な利用理由は就労による残業。年間の利用人数は569人であった。利用頻度は、年数回の世帯もあれば、毎日利用予約のある世帯もあった。

今年度は4名の職員で日替わりにて保育を行なった。午後5時に迎えに出発し、ピックアップしたのち夕食の買い物をする。夕食購入は、子どもたち自身の選択を尊重しつつ金額の上限を伝え、食べきれずとも含めて考える促しを行った。施設に着いたら検温・手洗いをし、宿題の残りを済ませ、午後6時半を夕食とし、以降は遊んで保護者の迎えを待った。

『児童健康状況届』を用いて、保護者から聞き取れた児童の様子を把握し家庭に近い雰囲気を利用することが出来るよう配慮した。また、好き嫌い・既往歴・アレルギーなど個々の児童に関わる体調面等について常時確認ができるよう工夫し、安全に過ごせるよう整えた。

令和5年度 トワイライト実績表(内訳)

令和6年3月31日 現在

学年	男女別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一年生	女									1			3	4
	男					4	16	12	16	8	6	14	9	85
二年生	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	8	24	20	17	13	22	21	31	19	16	24	21	236
三年生	女	8	11	13	11	10	8	10	10	9	7	9	9	115
	男													0
四年生	女	0	17	14	10	4	16	12	16	8	6	14	9	126
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五年生	女													0
	男												3	3
六年生	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計人数		16	52	47	38	31	62	55	73	45	35	61	54	569

総計	569	名
----	-----	---

2. ショートステイ事業

本事業は、戸田市及び川口市の子育て短期支援事業の一環として実施するものである。本年度は、7名(戸田市6世帯7人)の利用があり、利用日は延べ62日であった。利用理由は「母親の入院」(1世帯、戸田市1世帯、3日)、「育児疲れ」(5世帯、5世帯は母子家庭、戸田市5世帯、延べ57日)であった。今年度は高年児の利用があり、日頃やっているゲームやYouTubeをすることが出来ないことに対する不満が数日にわたると負担となっている様子が見られた。母親は「育児疲れ」として利用しても子どもの想いは追いついていない現状も垣間見られた。母親への伝え方に工夫をしながら子どもの様子は伝えた。また、福祉事務所にも子どもの様子は伝え共有した。利用ケースについては「育児疲れ」については当施設を退所した方が利用することが増えており近くに親族がおらず頼る先が少ないことも影響していると言える。一度利用されると、継続的に利用することも増えており、利用することで母親の日々の負担感は軽減されるものの、環境の変化については子どもへの影響が可能な限り小さく済むように努めている。

また、今年度は川口市からは依頼がなく利用されていない。現状としては、川口市の利用については当施設までの保護者の送迎が必要なため利用に繋がりにくいことが考えられる。また、障害児の受け入れのある施設を利用する子どもも増えている。受け入れ体制の面で考えると、有償ボランティアの活用をすすめている。今年度は新たに1名の登録をいただいた。児童の初回利用の際は職員が宿泊しアセスメントを行い、2回目以降の利用からボランティアに宿泊をしていただいている。ボランティアの方には急な依頼になるため、難しい状の際は職員で日程の調整を行い可能な限り受け入れを実施した。ボランティアには不規則の依頼になるため、調整が付きづらいことも多かったが、延べ23日間宿泊いただいた。今後は更にボランティア開拓をすすめていきたい。

次年度は児童福祉法の改正により家庭支援事業について「利用勧奨」と「措置」ができるようになるため利用にも変化が予想される。様々な家庭背景のある児童の利用があると思われるが戸田市・川口市と連携を行い、臨機応変により支援が提供できる事業を行なっていきたい。

令和5年度 ショートステイ実施状況(延べ人数)

令和6年3月31日現在

保育理由	年齢	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	
入院・通院	3歳未満	男													0	
		女														0
	3歳～5歳	男														0
		女														0
	小1～小3	男								2						2
		女														0
小4～小6	男														0	
	女														0	
家庭養育上の事由 (事故・災害等)	男														0	
	女														0	
社会的な事由 (冠婚葬祭等)	男														0	
	女														0	
育児疲れ	男					8	4	5	5	8		8	2	4	44	
	女					3			3	2	3				11	
就業	男														0	
	女														0	
緊急一時	男														0	
	女														0	
その他	男														0	
	女														0	
小計	男		0	0	0	8	4	5	7	8	0	8	2	4	46	
	女		0	0	0	3	0	3	2	3	0	0	0	0	11	
合計			0	0	0	11	4	8	9	11	0	8	2	4	57	

延べ 57名

5. 第二種社会福祉事業 よつば保育園

令和5年度 事業報告

1. 総括

今年度、5月から新型コロナウイルスがインフルエンザと同様の5類の扱いとなり、それにともない、保育園での活動も、少しずつ以前の生活に戻りつつある。全く同じ形はとれずとも、コロナ前の状況に近づくように、職員と共に、行事の見直しを始めた。その結果、保育園全体で、子どもの為の丁寧な保育を目指していった。

開園以来の保育理念に基づき、子ども達に対して一人ひとりの思いを大切に受けとめ保育することを心掛け、また保護者に対しては、信頼関係の構築に努め保育内容を丁寧に伝達し、子どもたちの育ちへの協働を図ってきた。

こうした状況においても当園の保育目標である

1. 心身すこやかなこども
2. 豊かな感性や創造性をもった子ども
3. 自分で考え行動できる子ども
4. 思いやりのあるやさしい子ども

の4つの願いをもって、子どもたちの「個」の育ちと「集団」の育ちに目を向けながら、生活や発達の連続性を大切にされた保育内容、あり方を意識しながら保育支援に取り組んできた。

令和6年4月1日

よつば保育園

園長 矢沢 利恵

2. 振り返り

(1) 保育の資質向上

- ・子どもひとり一人の感性を豊かに育み保てるよう、子どもの感じ方や考えを受容してきた。
- ・子どもに対して、一方的に保育者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、保育の中心は、子どもが主体であるという認識のもと、園生活を送りやすい環境を整えた。
- ・年齢の異なる子ども達とのコーナー保育は、新型コロナウイルス感染症の新しい生活様式を考慮し、例年通りの提供を果たす事は難しかったが、気候が秋を迎え涼しくなった頃から、幼児組のマスク生活を定着出来るようになってきた4、5歳児のみコーナー保育の提供を導入できた。
- ・乳児に対しては一人ひとりの発達をふまえ、個の成長段階を意識し大切にしながら、丁寧にゆっくり、ゆったりとした保育を実践してきた。

(2) 職員の資質向上

- ・子どもひとり一人をしっかりと理解することに務め、気になることなどは、園内研修(ケース検討会議)などの場において全員で考えることができた。
- ・関係機関等との連携も深め、情報交換の機会を設けるなど積極的に取り組めた。
- ・専門性を高めるため、自らの人間性や社会性、専門職としての向上に努め、自己研鑽に努めた。
- ・子どもの性差や個人差、個性を肯定し、そのことに留意して保育の実践に努めた。

(3) 職員の協力体制

- ・保育園全体をひとつのクラスと捉え、全ての子どもに目を向け、ひとり一人の子どもの状況などについて職員間で共有化するように努めた。
- ・それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあい、助け合うことができた。
- ・職員それぞれの思いを受け止め、信頼関係のもと保育実践が展開できた。
- ・積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良いかわりを一緒に見出していくことができた。

(4) 子ども目線の環境づくり

- ・限られたスペースの中で、子どもたちが自分の空間を見つけ、落ち着いて過ごせる場所づくりを工夫できた。
- ・子どもが自由に遊べるよう、また、子ども自身が主体的に遊べるよう、育ちにふさわしい環境、玩具を準備することを意識してきた。
- ・子どもの感覚を大事にし、子どもが描いたり、創ったりすることが出来るよう廃材等を用意し、意欲がもてるよう工夫してきた。

(5) 保護者との関係づくり

- ・保護者の家庭状況、家庭環境を十分に理解し、日ごろから子どもの様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、保護者の思いを受け止め信頼関係の構築に努めた
- ・保護者面談等で保護者と話す中で、子育てについて情報交換し共有しあいながら、保育に生かすよう努めた
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により園内への立ち入り制限をしたことで、園内の様子や子ども達の様子が伝わりづらくなるよう、写真や動画などを用いて掲示や DVD 販売などを通じた情報発信にも努めた

(6) 保護者意見の反映

- ・保護者からの意見・要望などについては実現に努めるとともに、実現の可否に係わらずその対応について説明を行った。
- ・運動会や発表会など、保護者の方々にアンケート調査を実施し、集計結果を公開しその後の行事の参考にした。
- ・要望箱設置 本年度は運動会行事の際の、入場人数について、通常通りに制限を緩めて頂きたいとのご意見を頂き、検討の上、保護者1名から保護者2名のまでの条件変更を行った。
- ・発表会においては新曽福祉センターを利用し、入場いただけなかった祖父母の方や、兄弟児の来場ができるよう工夫をした。

(7) 給食に対する取組

- ・年間食育計画に基づいた取組の実施【野菜の栽培】
- ・アレルギー児毎に対応した給食メニューの提供だけでなく、アレルギー児とアレルギーのない園児が同給食を食べられる様給食室と共に検討を重ねた。
- ・食育事業として、魚の解体を行い、食への感謝と命の大切さを感じた。
- ・子どもクッキングを再開した。
- ・授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食の提供。
- ・給食衛生管理マニュアルに基づいた対応。
- ・ご当地グルメの旅を通じ、社会文化や風習・風土の学びと食材への興味・関心力向上。

3. 年間利用児数(各月 1 日現在在籍数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
こつぼみ	2	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	62
つぼみ	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
すずらん	10	10	11	10	10	9	9	7	7	9	9	9	110
ひなげし	11	11	11	10	11	11	11	9	10	10	10	10	125
れんげ	8	8	9	10	9	8	8	7	7	8	8	8	98
ひまわり	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	127
合計	50	51	53	55	55	53	53	47	48	51	51	51	618

4. 職種別職員数(年度末日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常勤職員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
非常勤職員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
派遣職員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
嘱託医	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	19	228											

5. 組織体制等

園長 1 名 主任保育士 1 名 副主任保育士 1 名 保育士 13 名 看護師 1 名
嘱託医 2 名 栄養士及び調理員 3 名(業務委託)

6. 勤務体制、時間等

- ・早番 7:00~16:00
- ・早 2 番 8:00~17:00
- ・普通番 8:30~17:30
- ・中 番 9:00~18:00
- ・中 2 番 9:30~18:30
- ・遅 番 10:00~19:00 又は 11:00~20:00

7. 職員研修実施内容

別紙のとおり

8. 年間行事実施内容

別紙のとおり

9. 実習生受け入れ状況

なし

10. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容

別紙のとおり

今年度も4、5歳児を対象に口腔衛生向上のため、フッ化物洗口(毎日法に変更)を実施

厨房内の害虫駆除を業者に依頼し通年実施

厨房内清掃を業者に依頼し実施

11. 設備、備品、遊具等の充実内容

・施設強化推進費で、充電器や非常用哺乳瓶を購入した。

・卒園児の記念品としてワミーと言う知育玩具と、就学前年長児の為の紙芝居を寄付していただいた。

12. 建物等修理・修繕実施内容

・園庭滑り台の階段部分木部の劣化の為、改修実施。

・園庭のテラスの劣化を考慮し、修繕を施した。

・保育室木製扉開閉困難の為、部品交換による修繕及び調整を実施。

・厨房機器の不具合箇所等について保守点検業者による修繕の実施。

・保育室の空調設備が劣化したため、エアコン修理を実施。

・R4新型コロナ感染症対策特別補助金を利用し、各種改修。

① 病児保育室の換気口付き窓設置。

② 延長保育用居室の壁紙を抗菌壁紙に改修。

13. その他

・幼児組＝英語教室 講師の英会話に元気に参加。

・リトミック教室＝リズム感や敏捷性、表現力の向上などを目的に月に1回指導あり。

・体操教室＝運動能力の向上や体幹を鍛え、集団ルールの習得などを目的に月1、2回指導あり。

・個別相談対応＝対象児の情緒的安定や自己肯定感の向上などを図るため、母と個別相談を行った。

・サッカー教室＝市内サッカークラブの協力を得、月1回、年長組が戸田市保育園協議会主催のサッカー教室に参加した。

・卒園児の描いた絵画を一般道路からの目隠しとして、柵に設置。

<別紙>

項目 月	行事		職員研修		災害訓練		健康管理(健康診断・検便等)		保健衛生・職員会議	
	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容
4月	1日	入園式			各クラス	避難訓練(防災備品の確認)	1~10日	職員検便	6日	職員会議
	25日	年長お弁当遠足			20日	防犯訓練(主活動中に不審者)	4日	幼児身体測定	18日	リーダー会議
	27日	誕生会					5日	乳児身体測定	20日	給食会議
5月	2日	こどもの日集会	1日	嘔吐処理	各クラス	避難訓練(地震の際の避難場所を子どもたちと確認)	1~10日	職員検便	9日	職員会議
	17~24日	クラス懇談会					2日	幼児身体測定	15日	リーダー会議
	25日	誕生会			25日	防犯訓練(園庭に不審者)	10日	乳児身体測定	25日	給食会議
						30日	園児内科検診(ほそあい内科)			
6月	22日	4・5歳児クッキング	7日	食物アレルギーとアナフィラキシー	16日	避難訓練(大雨による浸水)	1~10日	職員検便	5日	職員会議
	27日	水遊び集会	16日	応急手当講習出前講座	各クラス	防犯訓練(園外に不審者)	7日	幼児身体測定	14日	リーダー会議
	29日	誕生会	20日				2日	乳児身体測定	24日	給食会議
						13日	歯科検診(戸田サクラ歯科)			
7月	7日	七夕集会	7日	乳児組プールの塩素量とAEDの使い方	11日	避難訓練(緊急地震速報)	1~10日	職員検便	6日	職員会議
	21日	夏祭り				防犯訓練(午睡明け、玄関に不審者)	5日	幼児身体測定	19日	リーダー会議
	27日	誕生会			27日		6日	乳児身体測定	20日	給食会議
8月	3日	とうもろこしの皮むき	22日	プライベートゾーン(幼児)	10日	避難訓練(降園前にゲリラ豪雨→避難)	1~10日	職員検便	4日	職員会議
	31日	誕生会	24日		30日	防犯訓練(水遊び中に不審者)	2日	幼児身体測定	15日	リーダー会議
							3日	乳児身体測定	25日	給食会議
9月	7日	水遊び納め集会			1日	避難訓練(シェイクアウト訓練)	1~10日	職員検便	6日	職員会議
	14日	4・5歳児クッキング			21日	防犯訓練(不審者が保育室に侵入した際の対応)	5日	幼児身体測定	13日	リーダー会議
	28日	誕生会					6日	乳児身体測定	21日	給食会議
10月	7日	運動会		手洗いチェッカー(幼児)	6日	避難訓練(引き取り訓練)	1~10日	職員検便	5日	職員会議
	10日~	個人面談			19日	防犯訓練(不審者が来園した際の通報)	3日	幼児身体測定	12日	リーダー会議
	26日	誕生会					4日	乳児身体測定	20日	給食会議
	31日	ハロウィン								
11月	30日	誕生会	25日	自己肯定感について 不適切保育について	28日	消防署立会い避難訓練(火災)	1~10日	職員検便	8日	職員会議
					21日	防犯訓練(事務所の職員不在時の不審者対応)	1日	幼児身体測定	15日	リーダー会議
							7日	乳児身体測定	24日	給食会議
						27日	園児内科検診(ほそあい内科)			
12月	3日	発表会			22日	避難訓練(子ども達が自分の命を守る訓練)	1~10日	職員検便	12日	職員会議
	14日	4・5歳児クッキング				防犯訓練(事務所内の防犯グッズの使用期限確認)	5日	幼児身体測定	21日	リーダー会議
	22日	誕生会			28日		6日	乳児身体測定	14日	給食会議
	34日	クリスマス会								
1月	5日	正月あそび集会	各自	業務改善案の提出	24日	避難訓練(緊急地震速報対応)	1~10日	職員検便	17日	職員会議
	26日	誕生会			26日	防犯訓練(午睡中に不審者侵入))	9日	幼児身体測定	10日	リーダー会議
							10日	乳児身体測定	16日	給食会議
2月	2日	豆まき集会			8日	避難訓練(給食時の地震・火災)	1~10日	職員検便	14日	職員会議
	6~15日	クラス懇談会				防犯訓練(園庭から不審者)	6日	幼児身体測定	19日	給食会議
	29日	誕生会			15日		7日	乳児身体測定	26日	リーダー会議
3月	1日	ひなまつり集会	30日	業務改善・次年度申し送り	11日	避難訓練(早期保育中に地震)	1~10日	職員検便	9日	職員会議
	9日	卒園式			22日	防犯訓練(散歩中に不審者に遭遇)	5日	幼児身体測定	13日	リーダー会議
	14日	卒園遠足					6日	乳児身体測定	21日	給食会議
	21日	3・4歳児クッキング							30日	申し送り会議
	22日	誕生会								
	28日	お別れ会								

6. 第二種社会福祉事業 病児保育室きらら

令和5年度 事業報告

1. 総括

本年度は、利用児童数74人(前年度53人)、利用日数63日(前年度51日)となった。利用児童数は前年比139%、利用日数は前年比123%となり、新型コロナウイルス感染の流行が落ち着き、それ以外の感染症が増加しそれに伴い利用者も増えたと思われる。また、昨年度まで利用連絡書で回復期のみの対応であったが、今年度から急性期も受け入れを可とした事も増加した要因と思われる。

本年度の特徴的な事はキャンセル数の増加である。キャンセルの理由としては、38℃以上の発熱のため利用できないことや、回復し元気になり保育園に通園できた、さらには保護者が仕事が休めた、在宅勤務になった等も増え現代の社会背景も関与していると思われる。

利用年齢は2歳児が最も多く、骨折やインフルエンザで出席停止となることから小学生の利用も増加している。疾患別では感冒・感冒様症候群が最多で、当保育室では利用不可となっている咽頭結膜炎(プール熱)の診断による問い合わせが数件あった。

本年度は、戸田市病児・病後児保育室連絡会が1回あり新型コロナウイルス感染児は受け入れ不可、発熱時に関しては新型コロナウイルス抗原検査等を強制はできないが協力をお願いが可能との伝達情報があり安心材料となった。各施設の利用者の情報交換や、困り事など共有できたことも良かった。

次年度もきらら職員で協力し、利用児及び保護者のニーズに合わせ、安心とともに安全に利用できる病児保育室として活動していきたい。

2. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数(延べ数)	5	7	5	7	5	8	4	7	10	6	6	4	74
利用日数	4	6	4	6	4	6	4	6	9	5	6	3	63
キャンセル人数	3	8	11	17	6	14	13	7	14	5	6		104
給食提供利用人数	1	2	2	3	1	2	2	3	4	0	1	1	22

3. 利用年齢

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
利用人数	3	17	18	8	2	1	2	1	1

4. 疾病別人数

	感冒	インフルエンザ	胃腸炎	気管支炎	咽頭炎	アデノウイルス	ヘルパンギーナ	ノロウイルス	骨折	肘内障	喘息
利用人数	30	4	4	4	2	2	1	1	2	1	2

7. 第二種社会福祉事業 むつみ保育園

令和5年度 事業報告

1. 総括

新型コロナウイルス感染症が5月より5類に位置付けられ、日常の保育や行事内容についてもコロナ禍以前の状況に徐々に戻りつつある。

子どもたちが安心できる保育園、保護者が安全だと思える保育園、保育者が働きやすい保育園を目指し、コロナ禍でも楽しい保育を皆で模索してきた。

各種行事についても、感染状況に応じて乳児・幼児組に分かれて実施した行事と合同で実施した行事とそれぞれに工夫を凝らし、子どもたちにとってのよき経験となるよう職員が努力してくれた。

やはり合同行事になると、子どもたちの表情や熱量、目の輝きなどコロナ以前のそれに近いものを感じることができ、園生活における行事の意義や役割を再確認するとともに、今後もどんな工夫が求められていくのかを再考するきっかけとなったように感じている。

また、研修や会議についてはオンライン化が定着し、その利便性を活用し、多人数の研修受講や閑散時間帯での受講など、より現場の実情に即した研修受講体制が徐々に構築されてきているものと考えている。集合(対面)研修も随時開催され、対面と非対面の両方を選択しながら、今後もより効率的で合理的な研修受講を整備していきたいと考えている。

コロナ禍を経て、保育の本質と保育園の在り方を私たち全員が見つめなおし、よりよきものへと変化させていくことの議論が深まりつつあるように感じている。

子どもたちの最善の利益は何かを園全体で描いていけるよう、日々丁寧な保育に引き続き邁進していきたいと思う。

令和6年4月

むつみ保育園

園長 阿部 敬

2. 年間利用児数(各月 1 日現在在籍数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いちご組	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
ちょうちょ組	7	7	8	8	7	8	9	9	8	8	8	8	95
なのはな組	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
すみれ組	7	7	7	7	7	7	7	7	6	5	5	5	77
ばら組	5	5	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	88
合計	31	31	34	34	34	35	36	36	34	33	33	33	404

3. 職種別職員数(各月 1 日現在在籍数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常勤職員	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	70
非常勤職員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
パート職員	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	31
嘱託医	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	11	11	13	14	161								

4. 組織体制等(年度末日現在)

園長1名 主任保育士1名 副主任保育士1名 保育士9名 嘱託医2名

※加配支援職員(派遣)含む

5. 勤務体制、時間等

- ・早番 7:00~16:00
 - ・早3番 8:00~17:00
 - ・中番 9:00~18:00
 - ・遅番 10:00~19:00
- 11:00~20:00 のうちの8時間

6. 職員研修実施内容

別紙のとおり

7. 年間行事実施内容

別紙のとおり

8. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容

別紙のとおり

9. 実習生受け入れ状況

- ・保育実習生1名(2月～3月)
- ・看護学校実習生2名(9月)

10. 設備、備品、遊具等の充実内容

- ・乳児・幼児用玩具の経年劣化に伴う、交換補充を実施
- ・園庭遊具下クッション材の破損に伴う改修交換を業者に依頼
- ・厨房内害虫駆除を専門業者に依頼し、通年実施
- ・園庭砂場の砂補充及び殺菌を業者に依頼

11. 建物等修理・修繕実施内容

- ・保育室内園児トイレを抗菌対策仕様へ改修実施(感染症対策補助金活用)
- ・幼児トイレ小便器について非接触タイプへ改修実施(感染症対策補助金活用)
- ・厨房前室空調不具合により全交換実施

12. 苦情・要望等報告

- ・令和5年度の投書はありませんでした
- ・引き続き皆様のご意見に誠心誠意対応してまいります

<別紙>

項目	行事・活動		職員研修		災害訓練		健康管理(健康診断・検便)		環境整備・各種会議等	
	月	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日
4月	1(土) 3(月) 4(火) 6,20(木)	入園式 進級式 英語教室 体操教室			5(水)	避難訓練(園上訓練) 消火訓練	1~15 17(火) 18(水)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	27(木) 28(金)	幹部会 職員会議
5月	1(月) 2(火) 11・18(木) 26(金) 19(金)	こどもの日の集い 英語教室 体操教室 誕生会 親子遠足	17(水) 22(月)	園内研修 市内保育研修会	17(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15 15(月) 16(火) 30(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児) 園児内科検診	17(水) 18(木) 26(金)	給食会議 幹部会 職員会議
6月	1・15(木) 26(月) 6(火) 28(水) 7・9・13・15 30(金)	体操教室 サッカー教室 英語教室 プール開き クラス懇談会 誕生会	16・20 30(金)	救命講習会(消防署員 派遣) 市内保育研修会	9(金)	避難訓練(水害想定) 消火訓練	1~15 13(火) 14(水)	職員検便 園児歯科検診 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	23(金) 27(火) 28(水) 29(木)	幹部会 戸田市一時保育連絡会 消防設備点検 職員会議
7月	4(火) 7(金) 14(金) 11(火) 6・20(木) 28(金) 25(火)	英語教室 七夕の集い 夏祭り サッカー教室 体操教室 誕生会 交通安全教室	5(水) 6(木) 14(金) 18(火) 26,27	県保協研修会(2名参 加) 園内研修 県保協研修会 市内保育研修会 関東ブロック研究会	13(木)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15 18(火) 19(水)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	5(水) 12(木) 20(木) 24(月) 25(火)	立正大学学生情報交流会 戸田市要保護児童地域対策協 議会 幹部会 衣類バンクweb会議 職員会議
8月	1(火) 10・17(木) 25(金)	英語教室 体操教室 誕生会	10(木) 22(火) 28(月)	園内研修 県保協乳児研修会 保育実践研修1名参加	2(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15 14(月) 15(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	18(金) 24(木) 25(金)	給食会議 幹部会 職員会議
9月	7・21(木) 5(火) 8(金) 1(金)	体操教室 英語教室 プール納め クッキング			1(金)	避難訓練(市のシェイク アウト参加) 消火訓練	1~15 14(木) 15(金)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	4・5 19(火) 29(金)	戸田中央看護専門学校実習受 入 幹部会 職員会議
10月	14(土) 3(火) 13(金) 5・12(木) 24(火) 27/31	運動会 英語教室 引き取り訓練 体操教室 サッカー教室 誕生会/ハロウィン	18(水) 23(月)	園内研修 園内研修②	11(水)	避難訓練(地震想定)	1~15 16(月) 17(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	9(月) 17(火) 20(金) 24(火) 27(金)	園内清掃(業者依頼) 幹部会 給食会議 大宮こども保育専門学校就職 フェア参加 職員会議
11月	7(火) 6(月) 14(火) 2・16(木) 30(木)	英語教室 サッカー教室 食育集会 体操教室 誕生会	9(木) 13(月) 21(火) 14・16・21・ 28・30 30(木)	市内特別支援保育研修 会 園内研修 県保協施設長研修会 市内保育園歳児別研修 web 県保協研修会	9(水)	避難訓練(地震後の火 災想定) 消火訓練(消防士会い 訓練)	1~15 13(月) 15(水) 16(木)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児) 園児内科検診	20(月) 27(火) 28(金)	給食会議 幹部会 職員会議
12月	7・21(木) 16(土) 5(火) 18(月) 20(水) 22(金) 25(月)	体操教室 発表会 英語教室 サッカー教室 クッキング 誕生会 クリスマス会	3(日) 8(金)	キャリアアップ研修(2 名) キャリアアップ研修	7(木)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15 14(木) 15(金)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	22(金) 23(土) 26(火) 27(水)	職員会議 園庭整備(業者依頼) 消防設備点検 幹部会
1月	19(水) 11・25 9(火) 10(水) 22(月) 26(金)	体操教室 体操教室(保護者参観) 英語教室 正月・もちつき集会 サッカー教室 誕生会	12(金) 17(水) 29(月)	キャリアアップ研修(2 名) 県保協新春研修会 キャリアアップ研修	10(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15 15(月) 16(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	16(火) 24(水) 25(金) 29(月)	給食会議 戸田市一時保育連絡会② 職員会議 幹部会
2月	2(金) 29(木) 27(月) 20~22 ・27・29	豆まき集会 誕生会 サッカー教室 懇談会	8(木) 13(火) 28(水)	園内研修 キャリアアップ研修 県保協研修会	7(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15 19(月) 20(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	15(木) 16(金) 19(月) 26(月)	フッ化物洗口講演会 職員会議 給食会議 幹部会
3月	1(金) 4(月) 7・21(木) 22(金) 16(土) 25(月) 26(火)	ひな祭り集会 卒園遠足(5歳児) 体操教室 サッカー教室 卒園式 誕生会 クッキング			11(月)	避難訓練(地震想定) 消火訓練 避難訓練(市のシェイクア ウト参加)	1~15 18(月) 19(水)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	2・3 16(土) 21(木) 25(月)28 (木)	保育室トイレ改修 厨房グリストラップ清掃 給食会議 職員会議 幹部会

8. 第二種社会福祉事業 むつみ保育園一時保育事業

令和5年度 事業報告

1. 総括

令和5年度の利用者数は延べ人数332人である。登録者数は40人、その中でも登録だけで一度も利用しなかった人数は13人である。利用児童数は332人、うち乳児は331人、幼児は1人であった。就労での利用が237人と最も多く、続いてリフレッシュ35人、慣らし23人、通院20人となっている。夏休みの幼児利用は一件であり、幼稚園での預かり保育が充実していることが伺える。

職員体制配置の厳しさ等によって、今年度は一時保育事業を休止にする園が3園あった。新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたことも影響してか徐々に問い合わせが増えていったが、当園でも職員体制が整わなかった4月の利用は0人、5月6月は5人未満と、受け入れが十分にできない時期があった。しかし6、7月に職員が2人増員されたことで面談の日程や利用希望日を利用者のニーズに合わせて対応できることが増え、本格的な始動となった7月頃からは新規登録者数とともに予約も増加している。職員が増えたことで新規獲得や予約は受け入れやすくなった反面、情報の共有が口頭では難しく感じたため、情報漏れを防ぐために利用児の情報を予約申し込み書の裏にファイリングするなど、閲覧する場所は最小限に留めつつ、必要な情報を得られるような工夫をしていった。お預かりする児の月齢、組み合わせが日々違う中でも安全、安心して過ごせるように、且つ保育園ならではの遊びを楽しめるように、クラスや一時保育職員間で連携を取っていく事が不可欠だと感じた。今回の経験を生かし、より一層の報連相を心がけていきたい。

昨年同様、市役所にて2回合同説明会が行われた。各保育園の現状について情報整理と共有を行い、質疑応答形式で情報交換をした。保育の様子としては、クラスには入らず一時保育だけで活動している、散歩には行かないが餅つきやドジョウ掴みの行事を積極的に取り入れているといった工夫や方針を知ることが出来た。どの園も利用する児の安全を確保しながら、出来る範囲で満足度を上げていくための努力をしており、当園では年齢によってはクラスに入り園外活動等を取り入れていきながら、楽しく安心して過ごせる保育を提供できるよう、今後も努力していきたい。

利用状況の一覧表を次ページに表示する。

2. 利用児数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総利用児童数		2	5	15	23	32	32	41	46	37	46	53	332
乳児		2	5	14	23	32	32	41	46	37	46	53	331
幼児		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

3. 利用事由及び時間数

利用事由	時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労	1日				5	18	26	21	25	36	28	32	34	225
	半日			1	5	1	1	2	1					11
就学	1日													0
	半日													0
面接	1日													0
	半日													0
職業訓練	1日													0
	半日													0
学校行事	1日													0
	半日													0
通院	1日								2	1	2		2	7
	半日		1	1	1	1	1		2	1	1	3	1	13
看護	1日													0
	半日													0
冠婚葬祭	1日													0
	半日													0
傷病	1日													0
	半日													0
産前産後	1日											2	12	14
	半日											2		2
慣れ保育	1日											1		1
	半日			2	2	2	1	6	5	2	1	1	1	23
リフレッシュ	1日		1	1	2	1	3	3	5	3	3	5	3	30
	半日								1	2	2			5

9. 第二種社会福祉事業 むつみ学童クラブ第一・第二

令和5年度 事業報告

本年度は、職員一人ひとりが法人理念及び施設基本支援方針を念頭に置き、利用児者の安心・安全を確保し、職員行動計画のもと多種多様な支援サービスを実施することを事業方針とした。子ども家庭庁の発足など児童福祉を取り巻く環境の変革期に合わせ、特別支援児童の受け入れなどの準備も進めている。また、当法人の理念である「意向の尊重・尊厳保持・心身の健全育成」を柱に、地域における子育て・家族支援等を念頭に置き、職員一人ひとりが多種多様な課題を抱える子どもと家族の安心・安全を支え、専門的・多機能な法人の支援サービスに促すことができた。このように、現状に甘んじることなく、職員チームとして協力し合い、さらなる改善・努力及び工夫を重ねることで、昨年度までとは異なる特別な1年になったと思われる。

今後は児童福祉法改正に基づく「児童の意見表明の機会確保」がより重要となる。不適切な環境で育つ児童ほど、保護者の意見と自分の意見を同一視しがちであるが、社会的に不適切や年齢相応でない場合も少なくない。さらに、近年では、児童を狙った犯罪が社会問題となってきた。メディアでの暴力、直接的な暴力、性的な暴力など子どもの安全について、利用児や保護者だけでなく、職員も学ぶ必要がある他、具体的な対策も重要である。それらを以下の中長期計画に反映し、今後も、鋭意努力を重ねたい。

<中長期計画>

利用児者支援に関して、3～5年後のあるべき姿を設定した上で現状を把握するために、次の中長期計画を策定し、令和5年度より3年間実施する。

1. 児童への支援サービスの向上

- * 防犯訓練の強化 …… 児童の安心・安全確保及び訓練の強化
- * 緊急連絡網の整備 …… 非常時に備えた頑健な連絡ツールの導入
- * 関係機関との連携 …… 学校や学童クラブ、他機関との連携
- * 記録システムの活用 …… 個の記録の蓄積を通じた個別計画的な支援
- * 権利擁護の機会提供 …… 意見箱の設置による意見表明機会の提供
- * ホームページ等での発信… 活動内容の発信を通じた児童の意欲の向上

2. 人財の育成

- * キャリア教育の推進…… 尊厳保持のための挨拶やマナーの向上
- * 研修機会の提供 …… 学童保育の専門性の向上

3. 各種事業への協力

- * 学習支援事業との連携…… 学習教材の充実による学ぶ意欲の向上
- * 母子生活支援施設との連携… 生活困窮世帯等への情報提供の向上

令和6年4月

むつみ学童クラブ 第一・第二

統括施設長 永塚博之

1. 運営目標と結果

1)学童保育の資質向上

- ・コロナ禍の中、玩具の消毒や、人との距離(ソーシャルディスタンス)に配慮し、コロナ感染等の感染症の予防に努めました。
- ・児童に対して、コロナ禍ではあっても、一方的に保育者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、保育の中心は「児童が主体」であるという認識のもと、過ごしやすい環境を整えました。
- ・年齢の異なる児童たちに班での役割づくり、自主的に片付けや清掃を促しました。
- ・児童の意欲を引き出せるような遊具を揃え、児童同士で遊べるような環境を整えました。
- ・卓球や工作など、職員による働きかけを通じ、児童の様々な可能性を引き出す活動を行いました。

2)職員の資質向上

- ・児童一人ひとりにしっかりと向き合い、よいこと・気になることを保護者と共有するとともに、職員間で対応を共有化しました。
- ・専門性を高めるため、埼玉県学童保育協議会を通じて『日本の学童ほいく』雑誌を年間購読し、毎月の学童保育のあり方について、自己学習に努めました。
- ・児童の発達、年齢、性差についての理解に努め、個人差、個性に留意して接しました。
- ・埼玉県主催の心のケア研修や発達支援研修に職員を参加し、理解と対応についての学びを深めました。また、児童支援員管理者研修に参加し、働きやすい職場づくり等を学びました。

3)職員の協力体制

- ・むつみ荘やむつみ学習支援センターと協働し、児童への行事や学習支援を行いました。
- ・職務分掌を定め、それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあう体制づくりに力を入れました。
- ・職員同士、積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良いかわりを、職員間で共有しました。
- ・コロナ対策は緩和されたものの、インフルエンザをはじめとする感染症自体はこれまでの発生するするため、熱がある職員に退勤してもらう、コロナ関係は役所報告するなどの対応を行いました。
- ・中学校襲撃事件以降の施錠対策強化などは継続実施しています。

4)保護者との関係づくり

- ・施設内でのけがや病気、児童間のトラブルなど、日ごろから伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、保護者の思いを受け止め、信頼関係を築くように努めました。
- ・保護者からいただいた要望については、できる限り丁寧に耳を傾け、対応したことについて、保護者にフィードバックするよう心掛けました。
- ・感染の流行が強まった際や防犯対策強化での施錠の際は、玄関先対応にご協力いただきました。

5) 関連機関との関係づくり

- ・新曽北小学校学童クラブには、校庭に遊びに出る際は必ず挨拶するように努め、よい関係が構築できるよう心掛けました。また入室児童が新曽北小学校学童クラブとの違いに不自由を感じないよう、色々と教わり、同等の支援サービスになるよう工夫しました。
- ・児童青少年課には、保護者要望、事故、修繕などを報告し、連携を欠かさないように努めました。

2. 利用実績

1) 各月 1 日現在在籍数（令和6年 3 月 31 日時点）

児童数・職員数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
第一 児童数	26	26	26	25	24	24	23	23	24	23	23	22	289
3年生	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	7	87
4年生	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
5年生	10	10	10	9	8	8	8	8	8	8	8	8	103
6年生	6	6	6	6	6	6	5	5	5	4	4	4	63
第二 児童数	26	24	24	23	23	22	22	22	22	21	20	20	269
3年生	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	111
4年生	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	66
5年生	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	61
6年生	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1	1	31
職員数	15	16	17	17	18								
学童支援員	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
補助支援員	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
法人職員	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	

2) 組織体制

統括責任者：統括施設長1名(理事長)

法人相談員：基幹的職員1名(防火管理者・衛生推進者)、相談員5名、学習支援員1名、

学童支援員：放課後児童支援員3名、

補助支援員：学童指導員2名(無資格、経験2年以上)、学童補助員5名(無資格)

(放課後児童支援員9名、社会福祉士2名、保育士2名、教員資格3名、公認心理師1名を含む)

3) 勤務体制・時間

常勤 早番 7:30~16:00 中番 10:30~19:00

非常勤 早番 9:00~18:00 中番 10:00~19:00

パート 早番 9:00~15:00 中番 13:00~19:00

4)修繕・設備整備(有償)

- ・防虫防除(年2回) ラミコジャパン
- ・消防設備点検(年2回) 駒崎商会
- ・ネット接続不良改善/Wi-Fi機器再設定 スターティアリード
- ・カーテン清掃 キングランメディケア
- ・事務所棚落下防止工事 テラオカ工務店

5)寄付報告

・たくさんのご寄付をいただきました。ありがとうございます。

No.	寄贈日	寄贈者名	寄贈品名	数量	HP/匿名/礼状
1	5月3日	岡田様	ちゃお	2	
2	5月11日	市役所様	マグネット	2	礼状
3	5月25日	藤田様	手洗いスタンプ	5	
4	6月14日	市役所様	折り紙	20	
5	6月14日	今井様	空きビン	30	
6	7月19日	今井様	本	18	
7	7月22日	役所様	パズル	6	
8	7月27日	内田様	外遊び玩具	5	
9	8月5日	今井様	本	14	
10	8月28日	根岸様	ボードゲーム	1	
11	9月21日	イサム様	ファイル	3	
12	10月30日	奥谷様	キーホルダー	3	
13	11月20日	日吉様	お野菜等各種	93	
14	11月25日	今井様	玩具(レゴ)	1セット	
15	11月30日	日吉様	お野菜等各種	33	
16	12月4日	岡田様	ちゃお	2	
17	12月4日	日吉様	お野菜等各種	137	
18	12月8日	岡田様	本	12	
19	12月8日	日吉様	お野菜等各種	50	
20	12月25日	県庁様	本	18	
21	1月11日	永塚様	本	12	
22	1月15日	日吉様	お野菜等各種	95	
23	2月5日	日吉様	お野菜等各種	185	
24	2月10日	御嶽様	玩具	1	
25	2月20日	今井様	本	8	
26	3月27日	細山様	本	4	

6)行事報告

誕生日や夏休み行事等の定期行事を実施している。また左記以外にも、制作物などの小さな行事を取り入れて、放課後の時間を豊かに過ごせるよう配慮している。

NO.	日付	表題	内容
1	R5 4/26	4月誕生会	内容:ジェスチャーゲーム 誕生会メッセージカードの作成
2	5/25	5月誕生会	内容:風船バレーボール 誕生会メッセージカードの作成
3	6/28	6月誕生会	内容:ボールだしゲーム 誕生会メッセージカードの作成
4	7/24	7月誕生会	内容:フルーツバスケット 誕生会メッセージカードの作成
5	8/18	8月誕生会	内容:夏祭り(ヨーヨー釣り、輪投げなどの屋台) 誕生会メッセージカードの作成
6	9/28	9月誕生会	内容:障害物リレー 誕生会メッセージカードの作成
7	10/18	10月誕生会	内容:スプーンリレーと何でもバスケット 誕生会メッセージカードの作成
8	11/28	11月誕生会	内容:けん玉競技大会 誕生会メッセージカードの作成
9	12/21	12月誕生会	内容:じゃんけん大会(カードを使用して一番多く集める) 誕生会メッセージカードの作成
10	R6 1/23	1月誕生会	内容:新聞紙に『の』字を探すゲーム 誕生会メッセージカードの作成
11	2/26	2月誕生会	内容:サッカー 誕生会メッセージカードの作成
12	3/27	3月誕生会	内容:間違い探しゲーム 誕生会メッセージカードの作成

7)防災訓練報告

火災・地震・台風・水害に備え、通報・防火防災・避難訓練を行った。本年度は、職員全体での訓練をテーマとし、さらなる訓練方法の見直しを図ることを目的に、職員向けの訓練を多くした。次年度も引き続き、各部署の担当者とともに訓練方法の見直し、大地震や水害他の非常事態に備えたい。

No	日付	種別	内容
1	R5/4/21	計画・図上訓練	R5年度の防災について、職員間で共有をした。図上にて避難経路の確認を実施。
2	5/26	水害	持ち出しリュックの確認を行い、防災リュックの入れ替えした。学童児に避難について説明を実施。
3	6/23	震災	『お・か・し・も・ち』について全体周知を実施、震災が起きた際の児童、職員への周知共有化。
4	7/14	熱中症等	熱中・脱水症状等の対応を職員間で共有、児童に声掛けを実施。WBGT(暑さ指数)の確認を行い、外での活動の危険性に配慮した。
5	8/4	熱中症等	熱中・脱水症状等の児童に対し声掛けを実施。自分自身でも症状が把握できるように説明を行っている。

6	9/29	水害・台風	職員間で避難経路、持ち出し品の確認を行い、合わせて防災リュックの更新を実施。
7	10/23	震災	『お・か・し・も・ち』について全体周知を実施、震災が起きた際の児童、職員への周知共有化。児童にも避難経路の説明を行った。
8	11/24	積雪	児童に対し、道路など積雪がある場所へ注意喚起を実施。積雪があった際、融雪剤の確認と散布方法など職員へ周知した。
9	12/21	火災	乾燥した季節となり、火災が起きやすくなっていることを児童に周知した。出火場所の起こりうる場所の確認を職員間で情報を共有。
10	R6/1/10	通報	通報訓練を実施。通報の仕方を職員間で共有化した。
11	2/19	水害	持ち出しリュックの確認を行い、防災リュックの入れ替えした。職員間で避難経路を確認した。
12	3/20	次年度計画・避難	来年度の防災について職員間で話合う。避難経路を児童に避難経路の周知。

8)事故等報告・苦情解決

事故報告書等を作成のうえ、原因や改善点などを分析・検討し、再発を防ぐよう努力する。支援員・補助員・相談員が参加し、事故を振り返るとともに、対応について協議した。

事故報告 8件 ヒヤリハット 2件 苦情件数 1件 (うち解決 1件)

【事故等報告書 抜粋】

NO.	日付	表題	内容
1	R5 4/10	<事故報告> 玩具破損	外遊びから帰ってきた児童が迷路ボールを床に落とし、迷路ボールが凹んだ。本児はそのことをすぐに職員に言わず、その様子を見ていた他児が職員に凹んだことを伝え自体が発覚した。ストレスが溜まっており行ってしまったとのこと。ストレスがあるのなら物に当たる前に職員に話すようにも伝えた。
2	5/26	<事故報告> 児童ベランダ立ち入り	おやつ後、室内遊び前の時間に小倉と小原が裸足でベランダに出て柵に足をかけ外を見ていた。「ベランダに出てはいけないことを知らなかった」と児童は話す。お互いの母の迎え時、状況説明と改めてベランダは出る場ではないことを子どもに伝えた。
3	5/27	<事故報告> 外遊び怪我	外遊びの際、雲梯に座って野球少年たちを眺めていた。目をそらせた際に、ある児童が小石をバットで打ち飛ばし、本児の左足脛に当たり、5mm未満の擦り傷を負った。流血なし、腫れなし、痛みなし。意図的に本児に向けて石を放った可能性がある。
4	6/10	<事故報告> 保護者と児童のやりとり	スシローの駐車場で学童に入室するしないで保護者と言いつ争っており、職員が説得してくださいと言われ様子を見に行く。保護者は大きな声で、「てめーの都合じゃないの働かなかったらご飯も食べられない。どう責任取ってくれるの?」「頭おかしいよ。ママのお客さんにも謝って、責任取ってよ」「もう児相だよ。こないだのは見学。今日電話するから入所ね」と怒鳴っている。本児入室、玄関内で泣き止むのを待ち、室内へ入る、気が立っている様子だが学童で過ごしていると落ち着いて行き通常に戻っている。
5	7/20	<事故報告> 玄関の扉で指を挟	外遊で集まっていた。10数名が靴を履いて玄関で待たなかつ職員が外遊び道具の用意で玄関を開閉した際に児童が右手小指を挟んだ。

		む	久しぶりの外遊びとなり職員が注意の声がけもしてはいるものの、児童たちの声もあったので届かなかったと感じた。
6	9/14	<事故報告> 玩具で他害	職員が本児と遊んでおり、見てはいたが、少し目を離すと、被害児は泣いていた。理由を確認すると、本児が何もしていないのに右目の涙袋周辺をレゴのパーツで刺してきたとのこと。どうして刺したのか聞くと、「わからない、喧嘩してもない」と発言あり。良いレゴの作品ができてうれしくなって面白がってやってしまったと思われる。
7	9/26	<苦情> 苦情対応	誕生会おやつで希望の物を残ってはいたが食べられず、職員が食べているのを見かける。保護者より指摘があり、改善している。
8	9/26	<ヒヤリハット> 1F 門扉の封鎖	細く棒状に丸めた紙が1Fの入り口の門扉を開閉できないようになっていた。園長と、学童時2名が入れない状態だった。入室一番だった児童に確認をすると「僕はやっていません」と返答がある。永塚が、防犯カメラがあるから確認してみようと言い、しばらく出欠確認などして、事務所に戻るタイミングで笑いながら「僕がやりましたー」と悪びれる様子はないが園長へ謝罪している。
9	9/28	<事故報告> 室内で転倒	児童が他児の持っていたレゴを取り返すため蹴ろうとした際、(机を側転のように飛び越えようとした)失敗し、背中から滑りながら床に10cm~20cmほどの高さから転倒している。しばらくして「頭がキーンとして痛いです」と言いに来る。事務所で頭(おでこ少し右側)を確認すると、少し赤みがかっていたので、アイスノンで処置をする。学習後は他児と遊んでいる。
10	2/2	<事故報告> クロームPCで撮影	学習時間の頃、児童のPCで自分と他児がのぞいており、児童らが写る複数枚の写真を見ていた。事実確認を行い、数日に渡って撮影。職員を呼んで不意打ちで撮ることもしたようだ。ルール違反であることを伝え、学習後に一緒に撮影したと思われる写真を消した。
11	3/1	<ヒヤリハット> おもちゃピストル	3階階段踊り場付近にておもちゃのピストルをみつけたので持ってきたと報告を受ける。保育園に確認し、現状不明とのこと一時ピストルのおもちゃは保管した。BB弾も隣に落ちていたが簡単には取れなかった。誰からも話しはなかったので玩具のピストルは処分している。

10. 公益事業 むつみ学習支援センター

令和5年度 事業報告

本年度は、職員一人ひとりが法人理念及び施設基本支援方針を念頭に置き、利用児者の安心・安全を確保し、職員行動計画のもと多種多様な支援サービスを実施することを事業方針とした。当法人の理念である「意向の尊重・尊厳保持・心身の健全育成」を柱に、地域における子育て・家族支援等を念頭に置き、職員一人ひとりが多種多様な課題を抱える子どもと家族の安心・安全を支え、専門的・多機能な法人の支援サービスに促すことができた。子ども家庭庁の発足など児童福祉を取り巻く環境の変革期に合わせ、戸田市要請を踏まえ、次年度より高校生児童を受入れる。このように、現状に甘んじることなく、職員チームとして協力し合い、さらなる改善・努力及び工夫を重ねることで、昨年度までとは異なる特別な1年になったと思われる。近年、子どもの居場所として学習支援が注目されている。戸田市は子ども食堂や学習支援団体のネットワーク化を進め、取りこぼしのない地域支援を目指す。参加に至らない児童もいる。センター受託の学習支援事業に参加する児童の多くは、学習習慣を身に付け、学習意欲を高めていると思われる。学習支援という強力な支援ツールと、「児童や保護者が参加しやすい活動」となるべく、さらなる工夫が必要を重ねたい。それらを以下の中長期計画に反映し、今後も、鋭意努力を重ねたい。

<中長期計画>

利用児者支援に関して、3～5年後のあるべき姿を設定した上で現状を把握するために、次の中長期計画を策定し、令和5年度より3年間実施する。

1. 児童・保護者・地域への支援サービスの向上

- * 緊急連絡網の整備 …… 非常時に備えた頑健な連絡ツールの導入
- * 関係機関との連携 …… 福祉や学校や教育等の他の機関との連携
- * 記録システムの活用 …… 個の記録の蓄積を通じた個別計画的な支援
- * 権利擁護の機会提供 …… アンケート等による意見表明機会の提供
- * キャリア教育の推進 …… 尊厳保持のための挨拶やマナーの向上
- * ホームページ等での発信 …… 活動内容の発信を通じた児童の意欲の向上

2. 人財の育成

- * スタッフ定着支援 …… スタッフとの意見交換の機会の提供
- * 研修機会の提供 …… 専門性向上を促す研修機会の提供

3. 各種事業への協力

- * 大学機関との連携 …… 学習教材の充実による学ぶ意欲の向上
- * 母子生活支援施設との連携 …… 生活困窮世帯等への情報提供の向上
- * 彩の国あんしんセーフティネット事業との連携 …… 同上

令和6年4月

むつみ学習支援センター

統括施設長 永塚博之

1. 運営目標と結果

1) 学習支援の資質向上

- ・児童に対して、一方的に支援者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、「児童が主体」であるという認識のもと、学習者中心の指導を行いました。
- ・年齢の異なる児童の集中力に合わせて休憩時間を設け、リフレッシュを促しました。
- ・児童の意欲を引き出せるような学習教材を揃え、自主学習しやすい環境を整えました。

2) 職員・ボランティアの資質向上

- ・ボランティア受け入れに際し、本事業と活動について十分な理解が得られるよう研修を実施し、子どもの貧困や学習支援の意義や個人差などの背景知識、ご説明しました。
- ・児童一人ひとりにしっかりと向き合い、年齢や精査に応じた指導を通じ、「できた・わかった」という経験ができるよう、毎回学習指導後に、職員とスタッフ間で課題を共有化しました。
- ・実習巡回の先生より助言をいただき、中学生の学習成果の定着を促す工夫を検討しました。

3) 職員・ボランティアの協力体制

- ・むつみ荘やむつみ学童クラブと協働し、児童への学習支援を行うよう努めました。
- ・職務分掌を定め、それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあえる体制づくりに、心がけました。
- ・職員は、ボランティアに対してコミュニケーションをはかり、児童にとって、より良いかわりと一緒にできるよう、関係構築を心がけました。
- ・指導的な方法よりも、支援的な方法を重視するよう、ボランティア・支援者に協力を求めました。
- ・ホームページを通じたボランティア参加申し込みが多くなっており、インターネット等での発信の重要性を再認識しました。

4) 保護者との関係づくり

- ・児童に対する気がかりなど来所や電話、寄付品の配布等を通じての関わりを持ちました。
- ・保護者からいただいた要望については、できる限り丁寧に聴きとり、対応したことについて、保護者にフィードバックするよう心掛けました。

5) 関連機関との関係づくり

- ・戸田市役所担当課の職員や教育支援員から、本事業への見守りやご指導をいただきました。
- ・母子生活支援施設むつみ荘への実習指導校(保育士、社会福祉士、公認心理師の各コース)に、ボランティアの募集のご協力をいただきました。
- ・弊法人実施では「食事補助クーポン券配布事業」を実施し、地域の子どもの居場所事業に協力しているが、本学習支援事業の登録児童に対し、世帯人数分のクーポン券を配布しました(計 54 枚)。

2. 利用実績

1)各月実績

令和5年度 児童数・スタッフ数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計 (回/人)
実施回数	13	16	16	16	16	16	16	16	16	14	16	16	187
児童数	42	64	91	92	92	58	78	85	87	63	66	48	866
中学生小計	28	50	69	79	79	45	64	72	73	53	60	30	702
中学3年生	9	24	29	49	39	21	29	34	35	26	25	9	329
中学2年生	10	12	23	21	30	18	19	20	23	18	26	16	236
中学1年生	9	14	17	9	10	6	16	18	15	9	9	5	137
小学生小計	14	14	22	13	13	13	14	13	14	10	6	18	164
小学6年生	6	7	10	8	11	10	8	8	10	4	4	10	96
小学5年生	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
小学4年生	5	4	8	5	2	3	5	5	4	6	2	7	56
小学3年生	3	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
小学2年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
小学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア数	38	38	35	45	47	44	41	42	42	35	37	34	478
社会人	18	25	21	24	31	27	23	27	23	23	23	25	290
大学生	20	13	13	18	16	17	16	12	16	11	12	9	173
高校生	0	0	1	3	0	0	2	3	3	1	2	0	15
実習生数	0	4	27	39	35	23	38	31	30	26	29	26	308
職員数	26	32	35	37	34	22	32	29	23	26	30	31	357

※市内小中学校参加実績 小学校12校中5校 中学校6校中5校

※中学三年生実績 継続利用した8名は、いずれも高校への進学を果たした。

(内訳:公立高校進学8名、私立高校進学なし)

2)組織体制

統括責任者: 統括施設長1名(理事長)

法人相談員: 基幹的職員1名(防火管理者・衛生推進者)、相談員5名、学習支援員1名、

(資格: 社会福祉士2名、保育士2名、放課後児童指導員4名、公認心理師1名を含む)

3)勤務体制・時間

常勤 早番 9:00~17:30 中番 10:30~19:00 遅番 12:30~21:00

非常勤 早番 9:00~18:00 中番 10:00~19:00 遅番 12:00~21:00

4)修繕(有償)

・なし

5)事故等報告・苦情解決

事故報告 0件 ヒヤリハット 0件 苦情件数 0件 (うち解決 0件)

6)寄付品

・学習支援に多くの方の理解が得られ、寄付をいただいた。

現品名	詳細	寄付者名	数量
学習教材、資料	Ke ワーク英語各学年 I ワーク地理Ⅱ、I ワークプ ラス/I ワーク歴史Ⅰ～ Ⅲ、I ワークプラス	スカイアカデミー (株式会社本気塾)	計 17 冊 計 49 冊 計 20 冊
	2023 年度用公立高校 過去問	戸田市生活支援課	2 冊
	uni 鉛筆／赤鉛筆、赤青 鉛筆／赤ボールペン 消しゴム／ノート5冊／ シャーペンの芯	戸田市子ども家庭支援 室	1 ダース×16／各 65 本 45 本／60 個／ 38 セット／20 ケース
	書籍、問題集	阿部 博行様	2冊
食品	クリスマスお菓子	熊倉 一恵様	24 セット
	クッピーラムネ ラーメン屋さん太郎 うまい棒	戸田市商工会	28 個 30 個 30 本
	レトルトご飯 レトルトカレー	埼玉県社会福祉協議会	230 食 204 食
	サトウのごはん レトルトハヤシ&牛丼	埼玉県社会福祉協議会	240 食 228 食
	サトウのごはん レトルト食品3種	戸田市社会福祉協議会	64 食 63 食
	コーヒースティック カロリーメイト BASE cookies ひとくちどらやき リプトン紅茶 ココアスティック ソイジョイ、プロテインステ ィック	セブンイレブン	3 箱 4 箱 3 箱 3 箱 1 箱 1 箱 計32本
	カップ焼きそば、レトルトご はん、カレーレトルト、ポタ ージュ2種	セブンイレブン	30 世帯分
	ゼリー	善能寺様	
	リンゴ、バナナ、梨、しめ じ、大根	(株)日吉青果店	108 点
	おせんべい	高木様	1 ケース
	ボンカン	福田様	100 個
	パン	暖家	78 個
生活用品	電気ポット、シュレッダー、 ホワイトボード消し コピー用紙4種 ホワイトボードマーカー 赤・黒／ゴミ袋	戸田市子ども家庭支援 室	各 1 個 各 2 冊 各 5 本／100 枚

11. 公益事業 生計困難者に対する相談支援事業

(彩の国あんしんセーフティネット事業)

令和5年度 事業報告

『彩の国あんしんセーフティネット事業』は埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会の実施する事業である。弊法人では、平成26年9月より公益事業「生活困難者に対する相談支援事業」として、職員を相談員として派遣し、戸田市で暮らす経済困窮者の支援を行っている。

本事業は、失業・虐待・DV・けがや病気などが原因で生活困窮状況に置かれた方々が、各福祉制度につながるまでの間、支援を行う活動である。原則、「相談→訪問→支援の決定」が大きな流れとなり、相談に応じ必要性を判断し、事業所長が決定権を持つ。支援には食材の提供等による支援や公共料金の滞納金の立替払いをするなどの一時的な経済的支援(限度額がある現物給付)も実施可能である。

また、よつば保育園では、同協議会が実施する「衣類バンク」にも協力している。

当年度もコロナ禍は続いているが、流行の少ない時期が出てきたこと、また経済困窮の度合いが強まってきていることから、相談件数は回復する傾向にある。ただ、困窮していても相談にたどり着けない方も潜在的に居ると思われる。今後、新型コロナウイルス感染症が第5類となり、経済的流動性が回復しても、急に経済格差等の問題が解決するわけではない。引き続き、地域の生活困窮者への支援の一端を担うべく、本事業を継続的に実施し、各機関と連携を図りたい。

令和5年度実績

相談者の 年齢・性別	性別	20歳 未満	20歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳～ 80歳	81歳 以上	不明	合計
	男										
	女				1						

相談時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		1											1

対応回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回以上	合計
												1	1

相談種別※複数回答あり																
高齢	児童	母子 寡婦	身体 障害	知的 障害	精神 障害	DV	児童 虐待	多重 債務	生活保護 受給中	生活保護 申請中	失業	疾病	低所得	ホーム レス	他	
								1				1	1		1	

対応種別 ※重複有	相談のみ			相談訪問			現物給付			食材提供			合計
		14		5			1						

給付金額	0	0～ 1000	1000～ 2000	2000～ 3000	3000～ 10000	10000～ 20000	20000～ 50000	50000～ 100000	合計
									1

※現物給付の1件は他の拠点より給付となっています。

支払合計金額	平均金額	支給 平均金額
¥77,150	¥77,150	¥77,150

12. 公益事業 食事補助クーポン券配布事業

令和5年度 事業報告

「食事補助クーポン券配布事業」は、定款に定められたひとり親世帯等経済的困窮世帯や子どもの居場所を利用する世帯を対象とした食育事業である。食育に関して、平成20年12月よりむつみ荘利用者と退所者、戸田市母子寡婦福祉会会員など戸田市内のひとり親世帯を対象に、NPO法人によるフードバンクの協力を得た「食育サポート事業」を実施してきた。令和に入り、新型コロナウイルス感染症が急拡大すると、様々な子育て家庭の経済的困難が社会課題として知られるようになった。そのため、弊会としても、支援対象を拡大する必要があると判断した。関連機関、子育て団体等に聞き取りを行って検討した結果、戸田市内在住のひとり親世帯等・経済的困窮世帯やその予備群(こども食堂・学習支援事業や子どもの居場所活動の利用世帯など)に対し、食育支援を行うこととした。ただ、むつみ会単独で行える事業には限りがあるため、戸田市役所、戸田市社会福祉協議会、戸田市商工会、戸田ライオンズクラブ等の協力・後援を願い出たところ、快い協力が得られ、市内の飲食店との連携が可能となったのである。

本事業は、対象世帯の支援のみならず、地域、子ども・子育て家庭支援関係活動団体との連携を深めることが可能であるため、地域の児童福祉の向上も目指している。利用・協力・後援をいただいた当事者・関係者の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げたい。

なお、当年度の実績は、以下のとおりである。協力店一覧は別紙参照のこと。

配布枚数 1000 枚配布(予算 1000 枚×500円=50 万円)

(配布先: 戸田市母子寡婦福祉会、学習支援 L-Cafe、b&gほか子どもの居場所)

回収枚数 488 枚 (むつみ会支出 488 枚×500円=244000 円)利用協力店実績

配布・利用の流れ(むつみ会が発行し、関係団体の協力で配布をし、協力店で利用し、回収)

クーポン券を発行(一年に2回)⇒配布依頼⇒対象世帯が券を利用⇒枚数に応じた代金を支払う。

【クーポン券利用実績】

	令和5年度	むつみ会食「食事補助クーポン券配布事業」年間集計表												店小計
	店名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4	からあげやガリッシュ	0	0	23	16	32	31	9	13	9	0	0	0	133
7	リゾート肉バル							9	6					15
9	ガーリックダイニングバー				3									3
13	パステイリー タンタシオン	17												17
14	やぶ忠	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
19	Le Copain	10								10				20
20	ホルモン焼 福	3	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	40
21	ピストロ プティラ ジョフ			19										19
24	石窯パン工房 暖家	0	0	22	5	45	32	19	9	10	11	14	0	167
26	中華旬菜酒家 ぼんぼん	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
27	スープカリー シーエス	11			4	10	10				4			39
30	café SoniDo	0	0	0	0	6	2	0	0	2	0	3	2	15
31	焼肉屋 マヨン	9												9
	月小計	50		64	28	93	120	37	41	21	15	17	2	488

(別紙)

社会福祉法人むつみ会 食事補助クーポン事業協力店一覧(令和4年7月28日現在)

登録	協力店名	電話番号	地区
1	寿司 善	048-442-6226	上戸田
2	You's Deli	048-441-2823	上戸田
3	そば処 更科	048-441-5282	上戸田
4	グレートアジア	090-6625-8084	上戸田
5	ママ応援カフェ ソニード	080-4290-1122	上戸田
6	石窯パン工房 暖家	048-446-2233	上戸田
7	カフェ トリア	048-444-7806	喜沢
8	和菓子 笹州	048-445-4868	喜沢
9	肉々 にんにく	080-3507-0160	喜沢
10	かふえ ふりゆい	048-421-1148	笹目
11	ビストロ プティ ラ ジョワ	048-441-4998	中町
12	やぶ忠	048-432-0220	新曽
13	Le Copain	048-299-6534	新曽
14	ホルモン焼き 福	048-271-9255	新曽
15	焼肉 マヨン	048-291-8877	新曽
16	スープカリー シーエス	048-420-5105	新曽
17	Kiteya Kitchen	048-446-7050	新曽
18	からあげやガリッシュ戸田公園店	048-229-7361	本町
19	リゾート肉バル アンダマンブルートダ	048-235-6335	本町
20	ガーリックダイニングバー	048-229-0085	本町
21	中華キッチン TAKA	048-229-2287	本町
22	パステイリー タンタシオン	048-229-7634	本町
23	ゴハン屋 フタバ	048-442-7775	本町
24	芳せんカフェ ひとしずく	048-441-6308	本町
25	さぼり場	048-229-0889	本町
26	中華旬菜酒家 ぼんぼん	048-442-1326	本町